

第2次千葉市文化芸術振興計画年次報告書(平成30年度実施状況及び令和元年度実施計画)【体系順】

基本施策1 文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」

(1) 多彩な文化芸術イベントの開催

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	共催 負担金									
1	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③ 基本施策3(3)① 基本施策3(3)② 基本施策4(2)①	千葉市民芸術祭	千葉市文化連盟が市内文化施設等において行う、茶道華道・音楽・文芸・伝統芸能・演劇・美術などの催しにより、多くの市民が芸術文化に触れる機会を創出する。	その他 千葉市文化連盟	市民局 生活文化課 文化振興課	市民局 生活文化課 文化振興課	開催日程：開幕式2月23日(土) 各行事3月2日(土)～3月31日(日) 会場：千葉市民会館ほか市内9会場 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶道華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の分野で計16(協賛事業含む)の行事を開催 来場者数：26,860人	来場者数の増加 (平成29年度21,830人)	開催日程：12月、2月下旬～3月下旬 会場：千葉市民会館ほか市内各会場 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶道華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の分野で行事を開催	来場者数の増加 (平成30年度26,860人)	総事業費 14,093	総事業費 15,449	B	
2	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策1(2)② 基本施策2(1)③ 基本施策3(1)② 基本施策4(2)②	ベイサイドジャズ千葉	ジャズを中心とした音楽文化の振興と街の賑わい創出や活性化のため、ジャズストリートを中心としたコンサートなどのジャズイベントを開催する。	(公財)千葉市文化振興財団・ベイサイドジャズ千葉実行委員会	市民局 生活文化課 文化振興課	市民局 生活文化課 文化振興課	21回目の「ベイサイドジャズ千葉」は、メインイベントとして千葉市文化センター3Fアートホールでスペシャルゲストを迎えての「前夜祭コンサート」、中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺、千葉みなと)で「ジャズストリート」を実施した。 また、プレイベントとして、アマチュアジャズコンペティションのほか、デモンストレーション、ジャズクルージングなど各種イベントも実施した。 ・デモンストレーション(5回実施) 7月15日、8月18日、9月4日、16日、18日、来場者数合計962人 ・アマチュアジャズコンペティション(1回実施) 8月11日、参加グループ数3グループ、入場者数45人 ・ジャズクルージング(1日、2回実施) 9月1日(入場者数200人) ・スチューデントジャズクリニック(3回実施) 9月15日、22日、24日(受講者数50人) ・スチューデントジャズコンサート 9月29日 会場：中央公園特設ステージ ※雨天中止 ・前夜祭コンサート(1回実施) 9月28日、入場者数343人 ・ジャズストリート(1日実施) 9月29日、有料会場16、無料会場3、延べ来場者数5,416人 ※無料会場は6会場の実施予定を定めていたが、雨天のため野外の3会場が中止となった。 ・スターダストジャズ(2回実施)【千葉市科学館主催事業】 9月8日、計入場者数215人 総入場者数 7,231人	来場者数の増加 (平成29年度は、20周年記念事業が実施されたため、平成28年度 11,705人を基準とする。)	千葉中心市街地及び千葉みなと地区の賑わいを創出し、文化芸術を「はぐくむまちづくり」を目的に「ベイサイドジャズ2019千葉」を実施する。 メインイベントとして、ゲストを迎えての前夜祭コンサート、複数会場でジャズ演奏が楽しめるジャズストリートを実施する。 また、プレイベントとして、アマチュアジャズコンペティションのほか、デモンストレーションやジャズクルージングなど各種イベントも実施する。 ・デモンストレーション(7月～9月・5回) そごう千葉店正面入口前広場ほか ・ジャズクルージング(8月31日・2回) 千葉みなと旅客船ターミナル発着船船内 ・アマチュアジャズコンペティション(8月24日) 文化センター スタジオ I ・ジャズストリート前夜祭(9月27日) 文化センター アートホール ・ジャズストリート(9月28日) 文化センターアートホールほか ※有料17会場・無料6会場で開催(予定) ・スチューデントジャズクリニック(9月上旬から中旬・全2回) 敬愛学園高校音楽室ほか ・スチューデントジャズ(9月28日) 中央公園特設ステージ ※市内の中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、成果を発表する。 ・スターダストジャズ(9月7日・2回) 科学館 プラネタリウム	来場者数の増加 (平成30年度は、ジャズストリート当日が雨天のため野外会場の来場者が激減したため、平成28年度11,705人を基準とする。)	総事業費 13,303	総事業費 13,260	C	9月28日のスチューデントジャズコンサート及びジャズストリートの無料会場(野外3会場)が雨天中止となつたため、来場者が大幅に減つてしまつた。その他のイベントについては、ほぼ予定通りの来場者数であった。今後は、雨天でも実施できる会場が確保できるか検討したい。
3	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③ 基本施策5(2)①	ワンコインコンサート	市民にプロの演奏家によるコンサートをより身近な場所で気軽に楽しんでもらうため、ワンコインで鑑賞できるコンサートを市内各所で実施する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	市民局 生活文化課 文化振興課	地域の交流促進施設である各區コミュニティセンター等を会場として、気軽に立ち寄り聴くことのできる500円(小学生以下100円)のワンコインコンサートを11回実施した。 日程：4～3月 11回(※出演者急病により1回中止となった) 1回のコンサート時間は60分程度とした。 会場：各區コミュニティセンター、民間施設等 定員：各会場 100人程度 出演：アーティストほか登録アーティスト ほか	入場者数1,200人	地域の交流促進施設である各區コミュニティセンター等を会場として、気軽に立ち寄り聴くことのできる500円(小学生以下100円)のワンコインコンサートを月1回のペースで12回実施する。 日程：4～3月 12回 1回のコンサート時間は60分程度とする。 会場：各區コミュニティセンター、民間施設等 定員：各会場 100人程度 出演：アーティストほか登録アーティスト ほか	入場者数1,200人	総事業費 1,687	総事業費 1,483	B	
4	基本施策1 (1) ①	基本施策3(1)①	鑑賞事業	市民会館ほか文化施設において、音楽、演劇等の様々な公演を定期的に実施する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	市民局 生活文化課 文化振興課	【一般向け】 ①四季のプログラム1「フォレストコンサートin千葉」 日程：9月10日(月) 会場：市民会館大ホール 料金：5,500円 入場者数744人 ②四季のプログラム2「千葉市民会館 おひるま寄席」 日程：5月15日(火)、8月28日(火)、11月27日(火)、2月20日(水) 会場：市民会館小ホール 料金：一般2,500円 4回セット券8,000円 入場者数720人 ③文化センター連携プログラム「こどものためのシェイクスピア冬物語」 日程：8月24日(金) 会場：市民会館大ホール 料金：一般3,000円、大学生以下1,500円 入場者数 73人 【子ども若者向け】 ④親子向け鑑賞会「おとみくつと音の旅コンサート」 日程：6月30日(土) 会場：市民会館小ホール 料金：一般1,500円、3歳～小学生500円 入場者数 219人 ⑤若者向け鑑賞公演「よしもとお笑い夏祭りin千葉」 日程：8月25日(土) 会場：市民会館大ホール 料金：一般3,000円、大学生以下2,000円 入場者数 371人	①入場者数960人 ②入場者数1,040人 ③入場者数960人 ④入場者数260人 ⑤入場者数960人	【一般向け】 ①四季のプログラム1「シニア向けコンサート」 日程：未定 会場：市民会館大ホール 料金：5,500円 ②四季のプログラム2「千葉市民会館 おひるま寄席」 日程：6月4日(火)、8月29日(木)、11月21日(木)、2月18日(火) 会場：市民会館小ホール 料金：一般2,500円 4回セット券8,000円 ③文化センター連携プログラム 演目未定 日程：3月 会場：市民会館小ホール 料金：未定 【子ども若者向け】 ④親子向け鑑賞会「0歳からの親子コンサート おとみくつと音の旅」 日程：5月25日(土) 会場：市民会館小ホール 料金：1,500円(小学生以下1人まで同伴可) 小学生以下追加券500円 ⑤若者向け鑑賞公演 演目未定 日程：11月 会場：市民会館大ホール 料金：5,500円	①入場者数750人 ②入場者数720人 ③入場者数150人 ④入場者数150人 ⑤入場者数950人	総事業費 7,736	総事業費 11,721	C	広報宣伝に努めたが、結果的には入場者が目標に満たなかった。今後、公演内容・広報の方法を検討したい。
5	基本施策1 (1) ①		アウトリーチ事業	若葉区・美浜区を中心に小学校や高齢者施設にアーティストを派遣し、事業を実施することで、文化芸術に触れる機会の少ない市民に文化芸術の素晴らしさ、楽しさを伝える。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課 文化振興課	市民局 生活文化課 文化振興課	①千葉市内中学校にて音楽を用いたアウトリーチ事業を実施 日程：12月18日(火) 会場：千葉市立都賀中学校1学年 入場料：無料 内容：千葉市芸術文化新人賞のヴァイオラ奏者率いる弦楽四重奏によるクラス単位での会うとリーチ事業 動員：148人 ②千葉市内小中学校(特殊支援学級)を対象としたワークショップ式アウトリーチ事業を実施 日程：1月23日(水) 会場：千城台北小学校「わかば学級」 入場料：無料 内容：シールアーティスト大村雪乃さんによるシールアートワークショップ。千城台北小学校、来た貝塚小学校の特殊支援学級ほか小学生によるアート体験 動員67人	①動員130人 ②動員100人	①千葉市内中学校にて音楽を用いたアウトリーチ事業を実施(美浜) ②千葉市内小中学校(特殊支援学級)を対象としたワークショップ式アウトリーチ事業を実施(若葉) ③市内公共施設にて実施する、スポーツ横断幕作りワークショップ及び完成披露イベント 会場：市内公共施設、若葉文化ホール 日程：7月～8月 内容：「Hand in Hand」をテーマに市民の「手形」で作るスポーツ応援横断幕作り、及び完成披露イベント スポーツ界の著名人をゲストに招き、「アウトリーチ事業」で製作した応援横断幕の完成披露イベントを開催。2020東京五輪、パラリンピックに向けたパネルディスカッションも実施予定	①動員100人 ②動員150人 ③動員(ワークショップ参加目標人数：2020人、完成披露イベント参加予定人数：400名)	総事業費 3,174	総事業費 5,575	A	①においては前年度実施後、内容の高評価により再実施を希望された実施となった。 ②においては、目標人数に達しなかったものの、完成作品は幅360cm×高90cmという規模の大作が完成し、展示時の市民の評価も大変高かった。

No.	最も特徴的な 施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	平成30年度 達成度	備考
					市の関わり										
6	基本施策1 (1) ①		小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業	美術館において、学校団体の利用を促すとともに、子どもたちに美術鑑賞の機会を提供するため、鑑賞プログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 一ツ部 文化振興課	市内の小中学校を対象に、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに鑑賞会を開催 学校数 20校	年間20校程度	市内の小中学校を対象に、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに鑑賞会を開催	年間20校程度		総事業費 1,188	総事業費 891	B	
7	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策2(1)③	ちば市国際ふれあいフェスティバル	外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、国際交流・国際協力団体相互の連携を図る。また、世界の国々や異文化を肌で感じることで、国際交流・国際協力への興味・関心を高めてもらう。	その他 ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会	総務局 市長公室 国際交流課	開催日:2月3日(日) 会場:千葉市民会館 小ホール 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など 来場者数:900人	事業の運営を通じ、国際交流、国際協力団体相互の連携を深める。 来場者数:900人	開催日:2月16日(日) 会場:千葉市民会館 小ホール 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など	事業の運営を通じ、国際交流、国際協力団体相互の連携を深める。 来場者数:900人		総事業費 151	総事業費 252	B	
8	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	千葉の親子三代夏祭り	千葉市を美しくする会が、市民意識・ふるさと意識の高揚を図るために、市民総参加のもとまつりを実施する。	その他 千葉市を美しくする会	市民局 市民自治推進部 市民自治推進課	本祭り 日時:8月19日(日) 場所:中央公園、栄町通り、千葉銀座通り、旧バルコ前、千葉中央一番街、きぼーるアトリウム2階、千葉神社 内容:パレード、みこし・山車の渡御、よさこい鳴子踊り、千葉おどり太鼓、他 千葉常胤生涯900年記念事業:千葉氏ダンボール甲冑づくり教室開催 人出:本祭り33万人 参加団体数:168団体 参加者数:4,845人	千葉常胤生涯900年記念事業実施による祭りの全体的な盛り上げ	本祭り 日時:8月18日(日) 場所:中央公園、栄町通り、千葉銀座通り、旧バルコ前、千葉中央一番街、きぼーるアトリウム、千葉神社 内容:パレード、みこし・山車の渡御、よさこい鳴子踊り、千葉おどり太鼓、他 人出:本祭り33万人(見込み)	東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントの推進による機運醸成と祭りの全体的な盛り上げ		総事業費 12,475	総事業費 12,756	B	
9	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③	ふれあいコンサート	障害のある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽の力で「心のバリア」を越えて、障害の理解や共感を得る場となることを願ってコンサートを開催する。	その他 NPOちば特別支援教育	保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課	開催日:11月11日(日) 会場:千葉県教育会館大ホール、きぼーる1Fアトリウム 内容:障害のある人などで音楽活動を行っている団体及び趣旨に賛同する個人・団体による楽器演奏・ダンス・歌唱等 入場者:909名	入場者数の増加 (平成29年度入場者900名)	11月10日(日)に平成30年度と同様の内容で開催予定。会場は千葉県教育会館大ホール、きぼーる1Fアトリウムを予定。	入場者数の増加 (平成30年度入場者909名)		総事業費 1,372	総事業費 1,150	B	
10	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③	障害者作品展	障害者が自らの障害を乗り越え、完成した作品を公開展示することにより、広く社会に日々の活動を理解していただき、障害者には自己表現の場とおして自信と希望を与え、自立と社会参加の促進に資することを目的に開催する。	その他 一般社団法人千葉市身体障害者連合会	保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課	開催予定日:10月3日(水)~10月5日(金) 会場:千葉市文化センター市民サロン (平成30年度実績) 出品者数172人 出品点数160点 出品点数208点 来館者数310人	出品者数、出品点数、来館者数の増加 (平成29年度実績) 出品者数172人 出品点数228点 来館者数310人	平成30年度と同内容を予定。 開催予定日:10月2日(水)~10月4日(金) 会場:千葉市文化センター市民サロン	出品者数、出品点数、来館者数の増加 (平成30年度実績) 出品者数160人 出品点数208点 来館者数392人		総事業費 350	総事業費 386	B	
11	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)② 基本施策4(2)①	パラソルギャラリー	千葉駅前中央公園プロムナード(千葉駅前大通り)にパラソルを並べ「アートのスペース」として、出展者のギャラリーやパフォーマンス空間として活用する。	実行委員会	都市局 都市部 都心整備課	開催日:10月6日(土) 来場者数4631人 7日(日) 来場者数5534人 会場:中央公園プロムナード 内容:パラソルギャラリー	来場者数:10,000人	開催日:10月5日(土)・6日(日) 開設:中央公園プロムナード 内容:パラソルギャラリー 補助金に依存せず、また、学生でなく市民が主体となった運営体制の確立をめざし、開催にあたっての助言を行う。	来場者数:6,000人 市民主体での運営体制を試みる。		総事業費 995	総事業費 450	B	
12	基本施策1 (1) ①		動物公園文化関連イベント	動物公園において、動物に関する理解を深めるため、動物が登場する絵本の読み聞かせや音楽会を開催する。ぬり絵等のワークショップの開催など、動物に関する文化イベントを実施する。	市	都市局 公園緑地部 動物公園	開催日:毎週 土曜日 会場:動物科学館(閲覧室) 内容:動物絵本の読み聞かせ 49回 開催日:毎週 土・日曜日 会場:動物科学館 内容:各種動物のクラフト作り 90回 ぬり絵 82回 など 会場:動物科学館、園内ステージ 内容:動物音楽会 1回開催 動物に関する講演 1回開催など 総参加者数 9048人	年間 9,000人	開催日:毎週 土・日曜日 他 会場:動物科学館 他 内容:絵本の読み聞かせ ぬり絵 クラフト作り 動物に関する上映会・講演会 家族で楽しめる動物音楽会 など	年間 10,000人		総事業費 13	総事業費 36	B	
13	基本施策1 (1) ①	基本施策5(1)①	中央区ふるさとまつり	中央区区民ふれあい事業の一環として、お年寄りから子どもまで、幅広い年齢層が参加でき、各種団体及び町内自治会の交流や連帯意識を醸成することを目的として、区民による手づくりのまつりを開催する。	実行委員会	中央区 ふるさとまつり 実行委員会	メイン会場である中央公園でのステージイベントや模擬店の実施に加え、一部近接商店街とも連携し、中心市街地の活性化を図るためのイベントを実施した。 開催日:平成30年10月21日(日) 会場:中央公園及び周辺 内容:中央公園ステージイベント、模擬店 来場者数:115,000人	来場者数の確保 120,000人	メイン会場である中央公園でのステージイベントや模擬店の実施に加え、近接商店街とも連携し、中心市街地を活性化できるイベントを実施する。 また、ホームタウンであるジェフユナイテッド市原・千葉や市教委との連携も引き続き行う。 開催日:10月20日(日) 会場:中央公園及び周辺 内容:中央公園ステージイベント、模擬店	来場者数の確保 120,000人 (平成30年度 115,000人) (平成29年度 18,000人) ※雨天での開催 (平成28年度 120,000人) (平成27年度 130,000人) (平成26年度 115,000人) (平成25年度 中止)		総事業費 4,318	総事業費 4,250	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	補助金									
14	基本施策1 (1) ①		花見川区民まつり	区民意識の醸成・高揚や多世代間の交流を図るため、花見川区内の各種団体の代表者等により花見川区民まつり実行委員会を組織し、区民手作りのまつりを開催する。	実行委員会 花見川区民まつり実行委員会	補助金	花見川区 地域振興課	開催日:10月28日(日) 会場:花島公園他 参加人数:50,500人 目標に対する実績:92.7% 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、フリーマーケット、ロードトレイン、模擬店、展示PRコーナー スタンプラリー、キャラクターとのふれあいを実施	入場者数の増加 54,500人 (平成28年度 53,500人)	開催日:10月27日(日) 会場:花島公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、フリーマーケット、ロードトレイン、模擬店、展示PRコーナー スタンプラリー、キャラクターとのふれあいを実施	入場者数の増加:51,000人	総事業費 5,531	総事業費 5,270	B	
15	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	稲毛区民まつり	区民相互の協調と親睦、区民意識の醸成及び高揚を図り、地域の発展に寄与することを目的に、稲毛区内の各種団体による実行委員会と協力して「区民まつり」を開催する。	実行委員会 稲毛区民まつり実行委員会	補助金	稲毛区 地域振興課	開催日時:10月21日(日) 午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等 来場者数:52,000人	来場者数の確保 50,000人	開催日時:10月20日(日) 午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等	来場者数の確保 50,000人	総事業費 4,600	総事業費 4,695	A	実行委員会がポスター等紙媒体を使った広報宣伝に努めた他、SNSを使った広報を今年度から開始した。
16	基本施策1 (1) ①		若葉区民まつり	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会を中心に、区の特徴を活かしたイベント(フリーマーケット、スポーツ大会、区民音頭の発表等)を区民一体となり実施する。 来場者数 22,000人	実行委員会 若葉区民まつり実行委員会	補助金	若葉区 地域振興課	開催日:11月4日(日) 会場:東京情報大学 他 内容: ・舞台プログラム ・子ども広場 ・フリーマーケット・模擬店 ・公共団体等PR・産直市 ・バレーボール大会 ・ソフトボール大会 来場者数: 22,000人	来場者数 21,000人 (平成29年度 21,000人) (平成28年度 20,000人)	開催日:11月3日(日) 会場:東京情報大学 他 内容: ・舞台プログラム ・子ども広場 ・フリーマーケット・模擬店 ・公共団体等PR・産直市 ・バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・グラウンドゴルフ大会	来場者数 23,000人 (平成30年度 22,000人) (平成29年度 21,000人) (平成28年度 20,000人)	総事業費 3,347	総事業費 3,438	B	
17	基本施策1 (1) ①		緑区ふるさとまつり	緑区内の各種団体の代表者で組織された実行委員会が、区民相互の協調及び高揚を図ることを目的に、子どもからお年寄りまですべての人が気軽に参加できる手作りのイベントを開催する。	実行委員会 緑区ふるさとまつり実行委員会	補助金	緑区 地域振興課	開催日:11月4日(日) 会場:昭和の森(太陽の広場) 内容:芸能ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体等PR 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料) 来場者数:32,000人	来場者数の確保 46,000人	開催日:11月3日(日) 会場:昭和の森(太陽の広場) 内容:芸能ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体等PR 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料)	来場者数の確保 40,000人	総事業費 3,877	総事業費 3,910	B	
18	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	美浜区民フェスティバル	区民の区民意識の醸成を図り、区としての一体感をさらに高めるため、美浜区民フェスティバル実行委員会を組織し、幅広い年齢層の区民が参加可能な区民手作りの美浜区民フェスティバルを開催する。	実行委員会 美浜区民フェスティバル実行委員会	補助金	美浜区 地域振興課	日時:平成30年10月7日(日) 会場:稲毛海浜公園 内容: フェスティバルバンド、太鼓、神輿、踊り、ダンス、模擬店、フリーマーケット、レクリエーションスポーツ(昔遊び・ハンパな競争等)、珈琲ショップ等 来場者数:55,000人	来場者数 60,000人	日時:10月6日(日) 会場:稲毛海浜公園 内容: フェスティバルバンド、太鼓、神輿、踊り、ダンス、模擬店、フリーマーケット、レクリエーションスポーツ(昔遊び・ハンパな競争等)等	来場者数 60,000人	総事業費 4,766	総事業費 4,530	B	
19	基本施策1 (1) ①		ランチタイムコンサート	稲毛区役所の市民ロビーを活用して、千葉市にゆかりのあるアーティストを招き、昼休み時間にコンサートを開催する。	市 稲毛区	主催	稲毛区 地域振興課	開催日時:年13回程度 開催場所:稲毛区役所1階市民ロビー ・ランチタイムコンサート 13回開催 観客数:2,089人(平均161人)	来場者数の確保 1,300人(100×13回)	開催日時:年13回程度 開催場所:稲毛区役所1階市民ロビー	来場者数の確保 1,300人(100×13回)	総事業費 312	総事業費 400	A	配布するプログラムに次回の予定演奏者を紹介、市政だより区版にも掲載しており、目標の1回あたり100人を上回る来場者を確保できた。
20	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策4(2)①	まちカフェライブ	緑区民で構成する実行委員会と協働で、区内の飲食店等を会場に演奏会を開催し、文化芸術を気軽に楽しんでもらいながら、地域交流・活性化を推進する。	実行委員会 まちカフェライブ実行委員会・アートタウンおゆみ野	主催 委託料	緑区 地域振興課	開催日:10月14日(日) 会場:①鎌取コミュニティセンター(メイン会場) ②区内の飲食店等数十か所を予定 内容: 地元の音楽愛好家等による演奏会を開催する。 ジャンルは、JAZZ、シャンソン、オペラ、ボサノバ、Pops、二胡など 来場者数:1000人	来場者数の確保 1,100人	開催日:10月12日(土) 第1会場 13日(日) 第2会場 会場:第1会場 土気あずみが丘プラザ(メイン会場) 他 区内の飲食店等 第2会場 鎌取コミュニティセンター(メイン会場) 他 区内の飲食店等	来場者数の確保 1,000人	総事業費 573	総事業費 651	B	
21	基本施策1 (1) ①		消防音楽隊コンサート	コンサートを通じて市民に消防広報を行うことを目的として実施する。	市 消防局 総務部 総務課	主催	消防局 総務部 総務課	年に6回、30分～120分程度のコンサートを実施 千葉市民会館 3月16日 参加者人数:861人 生涯学習センター 4回 6月30日、8月29日、10月3日、11月28日 参加者人数6月30日261人、8月29日290人、10月3日280人 11月28日290人 千葉市文化センター 2月23日 参加人数:403人	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。 生涯学習センター 4回 6月26日、8月28日、9月25日、12月22日 若葉文化ホール 7月20日 千葉市民会館 3月14日 千葉市民会館では観客数1000人、生涯学習センターでは観客数各300人、若葉文化ホールでは500人の集客を目標とする。	年に6回、30分～120分程度のコンサートを実施 生涯学習センター 4回 6月26日、8月28日、9月25日、12月22日 若葉文化ホール 7月20日 千葉市民会館 3月14日	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。 生涯学習センターでは観客数1000人、生涯学習センターでは観客数各300人、若葉文化ホールでは500人の集客を目標とする。	総事業費 393	総事業費 414	B	
22	基本施策1 (1) ①		こころの劇場	市内のホールにて、小学生を対象にミュージカルの鑑賞会を実施する。	その他 劇団四季	共催	教育委員会 事務局 学校教育課 教育指導課	実施日:5月17日(木)、18日(金)4公演 会場:千葉県文化会館 来場者数:6,504人	来場者数:6,500人	実施日:5月8日(木)、9日(金)4公演 会場:千葉県文化会館	来場者数:6,880人	総事業費 4,800	総事業費 4,889	B	
23	基本施策1 (1) ②	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)②	メディア芸術振興事業	個性豊かな新しい千葉文化の創造を図るため、将来の文化を担う子どもや若者を主な対象とし、映像メディアを中心としたメディア芸術に関する人材育成、普及啓発などの事業を実施する。	実行委員会 千葉市メディア芸術振興事業実行委員会	主催 負担金	市民局 生活文化課 文化振興課	若者に関心の高いメディア芸術の振興を図るため、本市の様々な地域資源の魅力や若者を対象としたワークショップ等を実施することで将来の千葉文化を担う人材を育てる。 平成30年度も日常生活に文化芸術の視点を取り入れていく試みとして、身近なテーマをメディア芸術という「ななめ」からのアプローチで取り上げた子ども向けのワークショップを開催した。 開催日:①平成30年11月10日(土)、11日(日) ②平成30年12月 1日(土)、2日(日) 会場:①はまのわ、②鎌取コミュニティセンター 参加者延べ441人	参加者延べ300人	若者に関心の高いメディア芸術の振興を図るため、本市の様々な地域資源の魅力や若者を対象としたワークショップ等を実施することで将来の千葉文化を担う人材を育てる。 令和元年度も日常生活に文化芸術の視点を取り入れていく試みとして、身近なテーマをメディア芸術という「ななめ」からのアプローチで取り上げた子ども向けのワークショップを実施する。	参加人数:延べ600人	総事業費 2,000	総事業費 2,000	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市	市の関わり									
24	基本施策1 (1) ②	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)②	『初音ミク「マジカルミライ 2018」』コラボレーション(メディア芸術振興事業)	東京メトロポリタンテレビジョン株式会社、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社が主催の「初音ミク」の創作文化を体感できる、ライブと企画展を併催したイベント『初音ミク「マジカルミライ 2018」』(千葉市後援)の開催にあわせ、ポップカルチャーを振興する取組みの一環として未来のクリエイター育成を目的にコラボレーションを実施。	市	市民局 生活文化課 一部 文化振興課	後援 委託料	①ホームページトップページおよび観光プロモーション課ツイッターアイコンの市章を「初音ミク」デザインに変更(8月31日のみ) 9時～21時累計:6,370件(平成30年8月31日) 前日比:約2.4倍 平成30年8月30日(前日):2,654件 前年同日比:約12分の1 平成29年8月31日(前年同日):76,019件 「千葉市は初音ミクを応援しています!」ページ アクセス数 9時～21時累計:3,196件(平成30年8月31日) 前日比:約31.3倍 平成30年8月30日(前日):102件 前年同日比:約9分の1 平成29年8月31日(前年同日):29,804件 ②千葉都市モノレール(アーバンフライヤー1車輦)のヘッドマークを「マジカルミライ 2018」仕様へ変更 ③「初音ミク」×「オオガハス」をテーマに千葉デザイナー学院の生徒達が作成したフォトスポットをマジカルミライ2018会場で展示。フォトスポットを撮影してくれた方に市章ロゴデザインのクリアファイルを配布。 クリアファイル配付枚数:約10,000枚(3日間合計) ④市内在学の高校生を対象に、マジカルミライのビジュアルを担当したイラストレータを講師として、初音ミクの描き方のポイントを教える講座を開催。 ※千葉市主催 【対象】市内在学の高校生 【会場】千葉デザイナー学院 【日程】平成30年7月31日 【料金】無料 【実績】参加者24名	-	①ホームページトップページおよび観光プロモーション課ツイッターアイコンの市章を「初音ミク」デザインに変更(8月31日のみ) ②千葉都市モノレール(アーバンフライヤー1車輦)のヘッドマークを「マジカルミライ 2019」仕様へ変更 ③「初音ミク」×「海辺」をテーマに千葉デザイナー学院の生徒達が作成したフォトスポットをマジカルミライ2019会場で展示。フォトスポットを撮影してくれた方に市章ロゴデザインの缶バッジを配布(3日間合計3000個予定)。 ④市内在学の高校生を対象に、マジカルミライのビジュアルを担当したイラストレータを講師として、初音ミクの描き方のポイントを教える講座を開催。	【「マジカルミライ2019」】 グッズ配付3日間合計3000個。 【初音ミクの描き方のポイントを教える講座】 →参加者30名。	総事業費 766	総事業費 1,000	-	新規掲載事業
25	基本施策1 (1) ②	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)②	PLAY THE WHEELS(メディア芸術振興事業)	若者に関心の高いメディア芸術の振興を図るため、本市の様々な地域資源の魅力をメディア芸術の力で発掘するとともに、主に若者を対象とした体験イベント等を実施することで将来の千葉文化を担う人材育成、メディア芸術に関する普及啓発を目的として、スポーツ用の車椅子に、スピーカーやLEDをつなげた特別な「クルマイス」を使って音や光の変化を楽しむ体験型メディアアート。	実行委員会 千葉市メディア芸術振興事業実行委員会	市民局 生活文化課 一部 文化振興課	主催 負担金	スポーツ用の車椅子に、スピーカーやLEDをつなげた特別な「クルマイス」を使って音や光の変化を楽しむ体験型メディアアートをイオンモール幕張新都心で開催されるオリンピック・パラリンピック2年前記念イベント「千葉にオリンピック・パラリンピックがやってくる!」(主催:千葉県、千葉市、みんなで応援!千葉県経済団体協議会、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会)内で実施。 【参加者】延べ1804人	-	若者に関心の高いメディア芸術の振興を図るため、本市の様々な地域資源の魅力をメディア芸術の力で発掘するとともに、主に若者を対象とした体験イベント等を実施することで将来の千葉文化を担う人材育成、メディア芸術に関する普及啓発を目的として、スポーツ用の車椅子に、スピーカーやLEDをつなげた特別な「クルマイス」を使って音や光の変化を楽しむ体験型メディアアート。	参加人数:1900人	総事業費 1,982	総事業費 2,000	-	新規掲載事業

(2)参加・体験型活動の推進

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市	市の関わり									
1	基本施策1 (2) ①		こども創造体験プログラム(導入編)	文化芸術に触れる機会として、幼稚園から小学生を対象に、コミュニティセンターなどにおいて、子どもの感性や創造性を育むための参加・体験型ワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 一部 文化振興課	共催 補助金	①こどもミュージックブロード・こみゆぶろ 園児を対象に音楽の楽しさを体験する場を提供するため、全12回実施した。講師はアーティストバンク登録アーティストとし、1回公演とした。次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場を提供した。 第1回 6月1日(金) 高浜幼稚園 トリオ・ミルフィーユ 参加者150人 第2回 6月2日(土) 城徳学園いそべ幼稚園 アルプス音楽団 参加者200人 第3回 6月7日(木) 弥生幼稚園 アルプス音楽団 参加者130人 第4回 6月13日(水) 山百合幼稚園 アルプス音楽団 参加者65人 第5回 6月27日(水) 小ばと幼稚園 B.B.モフラン 参加者160人 第6回 7月2日(月) 仁戸名幼稚園 B.B.モフラン 参加者180人 第7回 7月6日(金) 土気中央幼稚園 美炎トリオ 参加者300人 第8回 8月31日(金) 千葉さざなみ幼稚園 B.B.モフラン 参加者100人 第9回 10月10日(水) 登戸幼稚園 B.B.モフラン 参加者80人 第10回 11月8日(木) はまの幼稚園 アルプス音楽団 参加者270人 第11回 11月16日(金) 松ヶ丘幼稚園 アルプス音楽団 参加者180人 第12回 12月10日(月) 真砂白百合幼稚園 トリオ・ミルフィーユ 参加者120人 参加者 全12回 合計1,935人 ②こども創造体験教室 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場として、参加体験型のワークショップを全6回実施した。 第1回・第2回 7月7日(土) 親子でオリジナル皿をつくろう 男女共同参画センター 創作室 第3回・第4回 7月8日(日) 親子でマグカップをつくろう 男女共同参画センター 創作室 第5回・第6回 7月28日(土) みて!かいて!巨匠のアート 男女共同参画センター 創作室 参加者数 第1回 38人(19組) 第2回 34人(17組)、第3回 34人(17組)、第4回 26人(13組)、第5回 17人、第6回 16人 参加者合計 165人	①参加者数1,200人 ②参加者数120人	①こどもミュージックブロード・こみゆぶろ 園児を対象に12回実施する。講師はアーティストバンクちば登録アーティストとし、1回で完結とする。音楽の楽しさを体験してもらう機会を提供する。 日程:6月～12月 全12回 会場:各幼稚園 ②こども創造体験教室 ・「陶芸制作」 日程:7月上旬 2回 会場:男女共同参画センター 創作室	①参加者数1,200人 ②参加者数72人(36組)	総事業費 2,162	総事業費 1,490	B	
2	基本施策1 (2) ①		はじめての劇場体験ツアー	文化センターにおいて、子どもたちの劇場への興味を喚起するため、普段は入ることのないホール施設を探索する親子向けツアーを実施することでホールを知るきっかけを創出する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 一部 文化振興課	指定管理料	謎解き形式等のゲーム感覚を盛り込みながら施設内をめぐり、親子対象の参加型イベントとして実施する。 日程:8月22日(水)(1回実施) 会場:千葉市文化センター アートホール 参加組数:40人(20組) 参加費:1組2,000円	参加者数40人(20組)	謎解き形式等のゲーム感覚を盛り込みながら施設内をめぐり、親子対象の参加型イベントとして実施する。 日程:8月22日(木)(1回実施) 会場:千葉市文化センター アートホール 参加費:1組2,000円	参加者数40人(20組)	総事業費 279	総事業費 466	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
3	基本施策1 (2) ①	基本施策2(1)①③	舞台芸術体験事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、市民参加者を対象に、次代の文化芸術を担う人材の発掘・育成を目的とした舞台芸術ワークショップを実施し、その成果を披露するための公演を実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課 文化振興課	①演劇体験ワークショップ 会場：千葉市美浜文化ホールメインホール・諸施設 日程：12月25日(火)～27日(木)ノワークショップ 12月28日(金)ノ成果発表公演 内容：高校生を対象とした演劇ワークショップ。高校演劇作品を題材として、劇団原座のプロの役者が講師を担当。3日間で約50分間の公演を完成。 参加者数：30名、ワークショップ：3回、公演来場者：91名 ②チアリーディングサークル「わかばティベアーズ」 会場：若葉文化ホール諸施設 日程：4月～3月(毎月4回) 内容：通年で行うチアリーディングサークル。ホール主催事業への出演のほか、若葉区民まつりへの出演などにも出演 参加者数：43名、ワークショップ：毎月4回	①参加予定人数：20名程度 ワークショップ：全20回程度 ②参加者数：35名程度 ワークショップ：毎月4回程度	①伝統芸能ワークショップおよび演劇公演 会場：千葉市美浜文化ホールメインホール・諸施設 日程：4月～6月 成果発表公演6月14日(金) 内容：日本伝統芸能である「浄瑠璃」の体験ワークショップ、および劇団原座公演「新浄瑠璃百鬼丸」にて成果発表。 ②チアリーディングサークル「わかばティベアーズ」 会場：若葉文化ホール諸施設 日程：4月～3月(毎月4回) 内容：通年で行うチアリーディングサークル。ホール主催事業への出演など。	①参加者数：20名程度 ワークショップ：5回程度 ②参加者数：40名程度 ワークショップ：毎月4回	総事業費 7,050	総事業費 7,215	B		
4	基本施策1 (2) ①	基本施策5(2)②	こどもまつり	若葉・美浜の文化ホールにおいて、普段、文化芸術鑑賞の機会が少ない子どもたちと保護者に文化芸術と触れ合う機会やホールを知りきっかけを創出する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課 文化振興課	①会場：千葉市美浜文化ホール諸施設 日程：7月25日(水)、26日(木) 内容：カブトムシ狩り体験、ワークショップ、フリーコンサート等 当日参加人数：1516名 ②会場：千葉市若葉文化ホール諸施設 日程：3月3日(日) 内容：絵本音楽バンド「にじいろばにー」によるプロジェクションマッピングを用いたオリジナル劇を創作 当日参加人数：177名	①参加予定人数800人程度 ②参加予定人数300人程度	①会場：千葉市美浜文化ホール諸施設 日程：7月30日(火)、31日(水) 内容：カブトムシ狩り体験、ワークショップ、フリーコンサート等 ②会場：千葉市若葉文化ホール諸施設 日程：1月 内容：ファミリー層向けのコンサート	①900名程度 ②400名程度	総事業費 8,548	総事業費 4,869	A	①においては、想定人数(800名)に対し1500名を超える来場をいただいた。 ②においては、動員数は目標に達しなかったが、プロジェクションマッピングという新たな試みで新作公演を実施した。	
5	基本施策1 (2) ①	基本施策3(1)②	こども支援事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、幼少期から文化芸術に触れることで、文化芸術が身近に感じられるよう、子どもたちやその保護者を対象に、気軽に参加できる芸術公演・ワークショップ等を実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課 文化振興課	①会場：千葉市美浜文化ホールメインホール 日程：8月10日(金) 内容：若手日本舞踊集団「藝〇座」創作舞踊公演「新作：桃太郎」 千葉市芸術文化新人賞の藤原静寿さん出演 ※日本芸術文化振興基金助成事業／beyond2020登録事業 当日参加人数：434人 ②会場：千葉市若葉文化ホール 日程：3月2日(土) 内容：KIDS PERFORMANCE FESTIVAL 当日参加人数：265人	①参加予定人数：350人程度 ②参加予定人数：300人程度	①会場：千葉市美浜文化ホールメインホール 日程：5月6日(月) 内容：オリジナル企画による絵本朗読コンサートを実施。千葉市芸術文化新人賞の山岸努さん(Vn)、大塚百合菜さん(Vn)、高橋梓さん(Vla)出演 ②会場：千葉市美浜文化ホールメインホール 日程：8月 内容：スポーツレクチャー「LIVE「レスリング編」として、2020東京五輪、パラリンピックにおいて、千葉市で実施される競技を紹介し、機運情勢を図る ③会場：千葉市若葉文化ホール 日程：1月 内容：親子で楽しめるファミリーコンサートの実施	①参加予定数：270名程度 ②参加予定数：300名程度 ③参加予定数：500名程度	総事業費 6,431	総事業費 5,620	B		
6	基本施策1 (2) ①		いきがづくり事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、高齢者が元気になり、生きがいづくりやコミュニティ形成へつながるよう、参加・鑑賞系事業を中心に実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課 文化振興課	①会場：千葉市美浜文化ホール音楽ホール 日程：11月22日(木) 内容：没後100年特別企画 印象派の巨人クロード・ドビュッシー～音楽と言葉で感じるひととき～ 当日参加人数：154名 ②会場：千葉市若葉文化ホール 日程：3月1日(金) 内容：小椋佳コンサート「歌紡ぎの会」 当日参加人数：466名	①参加予定人数：150人程度 ②参加予定人数：450人程度	①会場：千葉市美浜文化ホール音楽ホール 日程：毎月一回 内容：「美浜マンスリークラシック」毎月その月に生まれた偉大な作曲家・音楽家などをテーマにクラシックコンサートを開催。 ②会場：千葉市若葉文化ホール	①参加予定数：1440名(各回120名程度) ②参加予定数：450名程度	総事業費 8,343	総事業費 7,180	A	①においては、フランス在住の一流ピアニストをブックキングできたこと、また人生100年時代」をキーワードにトークとコンサートを構成したことにより、高評いただいた。動員も満員御礼となった。 ②においては、半年間の休館を経て著名アーティストによる公演を実施することにより、市民にリニューアルオープンをPRできた。動員も有効キャパ満員御礼となった。	
7	基本施策1 (2) ①		美術館講座 (市民美術講座)	美術館のコレクション等についての理解を深めるため、学芸員が中心となって、収集された美術品と美術史などとの関係を説明する講座を開催する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	美術館館長他、学芸員による講座を実施 開催数：8回	年間10回開催	美術館館長他、学芸員による講座を実施 開催数：9回	年間9回程度	総事業費 0	総事業費 0	C	担当学芸員体調不良により2講座中止となった	
8	基本施策1 (2) ①	基本施策2(3)②	ギャラリートーク	美術館の展覧会への理解を深めるため、学芸員や美術館のボランティアが、展覧会の会場で、展覧会の内容や展示作品に関する解説を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	各展覧会で実施 実施数：76回(学芸員6回 ボランティア70回)	毎週水曜日14:00～ (年間60回程度)	各展覧会で実施	毎週水曜日14:00～ (年間60回程度)	総事業費 0	総事業費 0	A	ボランティアのスキルアップにより実施回数を増やせた	
9	基本施策1 (2) ①		市民ギャラリー・い なげ講習会 (ワークショップ)	市民ギャラリー・いなげにおいて、地域住民のニーズに応じた各種講座(スケッチ会、親子や家族で参加できる美術講座、専門家を講師に招いた写真や木工講座など)を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	【春のスケッチ会】 開催日：4月28日(土) 参加人数：42人 【山口マオ版画ワークショップ】 開催日：6月9日(土) 参加人数：12人 【夏休み子ども美術講座】 開催日：7月29日(日) ※台風のため28日は中止 参加人数：22人 特記：30年度より講師は千葉ゆかりの美術家を招き、日頃経験できない専門的でユニークな造形活動を実施する。 【白井綾写真講座】 開催日：9月22日(土) 参加人数：10人 【秋休み子ども美術講座】 開催日：10月6日(土)、7日(日) 参加人数：20人 【色であそぼう〇〇どうぶつ】 開催日：10月27日(土) 参加人数：24人 【秋のスケッチ会】 開催日：11月3日(土祝) 参加人数：9人 【佐藤信太郎写真講座「夜景を撮る」】 開催日：11月24日(土) 参加人数：14人 参加人数計：153人	参加人数 150人	【春のスケッチ会】 開催日：4月27日(土) 参加見込人数：20人 【山口マオ版画ワークショップ】 開催日：6月9日(日) 参加見込人数：15人 【夏休み子ども美術講座】 開催日：8月3日(土)、11日(日)、31日(土) 参加見込人数：20人 【白井綾写真講座】 開催日：9月予定 参加見込人数：20人 【秋休み子ども美術講座】 開催日：10月12日(土)、13日(日) 参加見込人数：20人 【色であそぼう〇〇どうぶつ】 開催日：10月27日(日) 参加見込人数：15人 【秋のスケッチ会】 開催日：11月2日(土) 参加見込人数：20人 【佐藤信太郎写真講座「夜景を撮る」】 開催日：11月23日(土) 参加見込人数：15人	参加人数 150人	総事業費 268	総事業費 300	B		

No.	最も特徴的な 施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	平成30年度 達成度	備考
					市の 関わり	指定管理 料									
10	基本施策1 (2) ①		和装マナー親子教室	市民ギャラリー・いなげにおいて、和装・茶道・華道などを通して日本の伝統文化を学ぶ親子教室を開催する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	開催日:6月9日、23日、7月7日、21日、28日、9月8日、29日、10月13日、11月10日、12月8日(全11回) 参加人数:35人	参加人数:35人	開催日:6月~12月 全11回予定 参加見込人数:35人	参加人数:35人	総事業費 60	総事業費 62	B		
11	基本施策1 (2) ①	基本施策2(1)③	男女共同参画センターまつり	千葉市男女共同参画週間の期間中に、男女共同参画に向けた活動をしている市民団体等及び一般の方々などの交流と活動発表の場として、参加・体験型のイベントを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団ほか 共催	市民局 生活文化課 7部 男女共同参画課	開催日:11月17日(土)~12月9日(日) 会場:千葉市男女共同参画センター 内容:男女共同参画センターまつりを開催(男女共同参画センター主催企画及び市民企画) 来場者数:延べ3,776人 主催:千葉市男女共同参画センター、千葉市男女共同参画センターまつり実行委員会(千葉市共催)	来場者数の増加 (平成29年度 延べ2,229人)	開催予定日:12月1日(日)~8日(日) 会場:千葉市男女共同参画センター 内容:男女共同参画センターまつりを開催(男女共同参画センター主催企画及び市民企画) 来場者数:延べ3,000人(見込み) 主催:千葉市男女共同参画センター、千葉市男女共同参画センターまつり実行委員会(千葉市共催)	来場者数の増加 (平成30年度 延べ3,776人)	総事業費 1,167	総事業費 1,550	A	試行的にハーモニープラザフェスタ(11/17,18)に開始日を合わせ、開催期間を延長した。	
12	基本施策1 (2) ①		千葉市子ども交流館文化関連イベント	子どもの健全な育成と交流を図るための拠点施設として、様々な講座やイベントを開催している子ども交流館において、文化芸術に関する講座等を実施する。	指定管理者 千葉ミライ子どもプロジェクト事業体 指定管理料	こども未来局 こども未来部 こども企画課	【なかよし工房・オープン工房】 内 容:不用品を利用したりリサイクル工作や造形レッスンなど、年齢に合わせたプログラムを提供した。(月4回) 対 象:小学生・未就学児と保護者 【グリーンミュージックフェスティバル】 内 容:交流館の音楽スタジオを利用する中高生が主体となり、自主コンサートを開催した。(7月29日・12月23日) 対 象:中高生主体 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 内 容:プロの専門講師による各種レッスンを行った。(各月2回) 対 象:小中高生 【キッズ・アトリエ】 内 容:地域に貢献するアーティストたちを講師に迎え、オリジナル性のある絵画・造形・デザインなど、子どもの個性を活かしたモノづくりを体験した。(2月2日・2月27日) 対 象:小中高生 【きぼーる・子どもミュージアム】 内 容:「つくる・あそぶ・つながる未来」をテーマとし、文化・芸術関係を含む様々な分野のファシリテーターが提案する遊びや学びのワークショップを体験した。(5月13日・10月14日) 対 象:一般 【子育てふれ愛フェスタ】 内 容:親子のふれあいをテーマに、家族が一緒に参加できるワークショップや、演劇や音楽を主体にした参加型舞台芸術を体験した。(11月23日) 対 象:一般	【なかよし工房・オープン工房】 開催頻度:月4回 【グリーンミュージックフェスティバル】 開催頻度:年2回(7月・12月) 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 開催頻度:各月2回 【キッズ・アトリエ】 開催頻度:年2回 【きぼーる・子どもミュージアム】 開催頻度:随時 【子育てふれ愛フェスタ】 開催頻度:年1回	【なかよし工房・オープン工房】 内 容:不用品を利用したりリサイクル工作や造形レッスンなど、年齢に合わせたプログラムを提供する。 対 象:小学生・未就学児と保護者 【グリーンミュージックフェスティバル】 内 容:交流館の音楽スタジオを利用する中高生が主体となり、自主コンサートを開催する。 対 象:中高生主体 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 内 容:プロの専門講師による各種レッスンをを行う。 対 象:小中高生 【キッズ・アトリエ】 内 容:地域に貢献するアーティストたちを講師に迎え、オリジナル性のある絵画・造形・デザインなど、子どもの個性を活かしたモノづくりを体験する。 対 象:小中高生 【きぼーる・子どもミュージアム】 内 容:「つくる・あそぶ・つながる未来」をテーマとし、文化・芸術関係を含む様々な分野のファシリテーターが提案する遊びや学びのワークショップを体験する。 対 象:一般 【子育てふれ愛フェスタ】 内 容:親子のふれあいをテーマに、家族が一緒に参加できるワークショップや、演劇や音楽を主体にした参加型舞台芸術を体験する。 対 象:一般	【なかよし工房・オープン工房】 開催頻度:月4回 【グリーンミュージックフェスティバル】 開催頻度:年2回(7月・12月) 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 開催頻度:各月2回 【キッズ・アトリエ】 開催頻度:年2回 【きぼーる・子どもミュージアム】 開催頻度:随時 【子育てふれ愛フェスタ】 開催頻度:年1回	総事業費 1,632	総事業費 2,210	B		
13	基本施策1 (2) ②		中学生の職場体験学習	美術館において、中学生を対象に、職場体験学習の一環として、美術館の仕事について理解してもらい、興味を喚起するため、館内施設の見学や作業体験を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。 参加者数 18校 40人	各学校からの希望を踏まえ、指定する期間20校40人程度	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。	各学校からの希望を踏まえ、指定する期間20校40人程度	総事業費 0	総事業費 0	B		
14	基本施策1 (2) ②		高校生美術館体験プログラム	美術館において、高校生を対象に、作品鑑賞を充実させるとともに、美術館とその仕事についての理解を深めるプログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	美術館の役割や様々な取り組みについての理解を深め、また美術における多様な表現を知ることで、美術館を主体的に活用し、支える人材を育成するプログラムを実施する。 実施日:12月18日 参加校数:2校 参加者数:27人 講師:山下麻衣+小林直人(現代芸術家)、西尾朋央(アーティスト)	年1回	美術館の役割や様々な取り組みについての理解を深め、また美術における多様な表現を知ることで、美術館を主体的に活用し、支える人材を育成するプログラムを実施する。	年1回	総事業費 34	総事業費 50	B		
15	基本施策1 (2) ②		未来への夢を育む音楽芸術体験教室	伝統音楽や声楽、器楽合奏の鑑賞および体験活動を通して音楽文化への理解を深め、我が国や諸外国の芸術文化へのグローバルな視野を広げるとともに、子どもたちの情操を育てる。	市 千葉市邦楽邦舞協会他 主催	教育委員会 事務局 学校教育課 教育指導課	市内中学校の体育館等に、邦楽、能楽、声楽、オーケストラの演奏家を招いて、体験教室と鑑賞会を実施した。中学生が、音楽芸術をより身近に感じられるように配慮し、大規模校については、学年単位で実施した。 オーケストラ:5校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:7校 計26校での開催を目指す。	オーケストラ:5校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:7校 計26校での開催を目指す。	市内中学校の体育館等に、邦楽、能楽、声楽、オーケストラの演奏家を招いて、体験教室と鑑賞会を実施する。中学生が、音楽芸術をより身近に感じられるように配慮し、大規模校については、学年単位で実施する。	オーケストラ:6校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:6校 計26校での開催を目指す。	総事業費 7,303	総事業費 7,303	B		
16	基本施策1 (2) ②		明るい選挙啓発作品の募集	ポスター・標語・書き初めの選挙啓発作品を募集して、入賞作品を展示することにより、明るい選挙と投票率の向上を呼びかける。	市 明るい選挙推進協議会 共催	選挙管理委員会 事務局	募集期間:5月~9月(ポスター・標語) 11月~1月(書き初め) 展示場所:各区役所等 8か所 展示期間:1か所あたり5日程度(合計49日)	展示場所:8か所 展示期間合計:50日	募集期間:5月頃~9月頃(ポスター・標語) 11月頃~1月頃(書き初め) 展示場所:各区役所等 展示期間:1か所あたり5日程度	展示場所:8か所 展示期間合計:50日	総事業費 114	総事業費 215	B		

基本施策2 文化を創造する人材を「育てる」

(1)文化芸術活動を楽しむ市民への支援

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
1	基本施策2 (1) ①		こども創造体験プログラム	文化センターにおいて、子どもたちの豊かな創造力を養うため、小学生を対象に、子どもたちが力をあわせて創造的なモノ作りを行うワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	マジックショーと参加体験型の科学実験を融合させた教室を小学校低学年・高学年の2コースで実施した。 日程:8月23日(木) 会場:千葉市文化センター 市民サロン 対象:千葉市在住・在学の小学生 定員:各コース40人 参加費:2,000円 参加者数:小学校低学年コース31人、小学校高学年コース21人 計52人	参加者数80人		マジックショーと参加体験型の科学実験を融合させた教室を小学校低学年・高学年の2コースで実施する。 日程:8月21日(水) 会場:千葉市文化センター 市民サロン 対象:千葉市在住・在学の小学生 定員:各コース50人 参加費:2,000円	参加者数100人	総事業費 219	総事業費 288	B	
2	基本施策2 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策5(1)②	オーディション「GOTO JAPAN JAM 2019」	千葉市の音楽文化の振興を図ることを目的に、株式会社ベイエフエムが主催するロックフェス「JAPAN JAM 2019」に、千葉市に在住・在学又は在勤の若者が出演できる場を設けるとし、そこに出演できるバンドを選出するためのオーディションを実施。	市 株式会社ベイエフエム	市民局生活文化課-7部文化振興課	千葉市に在住又は在学又は在勤で、音楽・バンド活動をしている若者(原則30歳代まで)で、メンバーの一人でも千葉市に在住又は在学又は在勤であれば応募可能として募集。事前の音源審査を勝ち抜いた6バンドが公開オーディションに出演。 【公開オーディション】 日時:平成31年3月30日 会場:ライブハウスSTARNITE 結果:3組の出演バンドが決定	-		千葉市の音楽文化の振興を図ることを目的に、株式会社ベイエフエムが主催するロックフェス「JAPAN JAM 2019」に、千葉市に在住・在学又は在勤の若者が出演できる場を設けるとし、そこに出演できるバンドを選出するためのオーディションを実施。	音源審査可能応募数40件	総事業費 540	総事業費 540	-	新規掲載事業
3	基本施策2 (1) ②	基本施策2(1)③ 基本施策3(1)② 基本施策3(2)②	ちば・まちなかステージ	若手のアマチュアミュージシャンやストリートパフォーマーを発掘・支援するため、中心市街地などの市民で賑わうまちなかの会場を確保し、発表の機会を提供する。	その他 (公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	若者ストリートライブとして、公募によるアマチュアバンドやストリートミュージシャン、パフォーマー等が出演する野外ライブを6月から11月まで6回開催した。 日程:6月~11月(月1回実施 計6回) 会場:そごう千葉店正面入口広場 出演:ストリートミュージシャンほか 6月24日、7月15日、8月19日、9月16日、10月21日、11月18日 来場者合計2,050人 出演団体数26組	出演団体数30組		若者ストリートライブとして、公募によるアマチュアバンドやストリートミュージシャン、パフォーマー等が出演する野外ライブを開催する。 日程:6月~11月(月1回実施 計6回) 会場:そごう千葉店正面入口広場 出演:ストリートミュージシャンほか	出演団体数30組	総事業費 689	総事業費 600	B	
4	基本施策2 (1) ②		ユースカルチャー支援事業	文化センターにおいて、若者の文化芸術活動を支援するため、高校生等を対象としたワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	ヘアメイクや衣裳をテーマに、第一線で活躍するクリエイターを講師に招いて、実践的なワークショップを、今回はヘアメイクコース、衣裳コースの2コースで実施した。 【体験講座】 日程:7月16日(月・祝)・21日(土)・25日(水)・26日(木)・29日(日) 日程:30日(月)・31日(火)、8月3日(金)(全8回) 会場:千葉市文化センター 会議室 ほか 対象:中高生 定員:各コース30人 受講料:6,000円 参加者数:ヘアメイクコース12人、衣裳コース13人 計25人 【本番公演】 日程:8月4日(土) 会場:千葉市文化センター アートホール 料金:一般2,500円、大学生以下1,500円 来場者:91人	受講者数60人 来場者430人		ヘアメイクや衣裳をテーマに、第一線で活躍するクリエイターを講師に招いて、実践的なワークショップを開催する。前回までの2コース制を衣裳制作コースに統合し実施する。 【体験講座】 日程:9月~10月(6回程度実施) 会場:千葉市文化センター 会議室 対象:中高生 定員:60人 受講料:6,000円 【本番公演】 日程:10月 会場:千葉市文化センター アートホール 料金:一般3,000円、大学生以下2,000円	受講者数60人 来場者450人	総事業費 4,811	総事業費 5,435	C	広報宣伝に努めたが、結果的には参加者が定員に満たなかった。事業の構成・広報の方法を検討したい。
5	基本施策2 (1) ②		舞台芸術創造ワークショップ	文化センターにおいて、若者の文化芸術活動を支援するため、ユースカルチャーをテーマに小学生から高校生までを対象とした舞台芸術のワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	経験を問わず、小中高生を対象にHIPHOPダンスのワークショップを年代別に分けた2コースで実施した。 ※発表を舞台芸術創造ワークショップ公演として千葉市文化センターで実施した。 日程:8月21日(火)・27日(月)・28日(火)、9月2日(日)・23日(日)、10月7日(日)(全8回) 会場:千葉市文化センター 第2リハーサル室 定員:各コース30人 受講料:10,000円 参加者数:小学4~6年生コース22人、中学~高校生コース8人 計30人	受講者数60人		経験を問わず、小中高生を対象にHIOHOPダンスのワークショップを年代別に分けた2コースで実施する。 ※発表を舞台芸術創造ワークショップ公演として千葉市文化センターで実施する。 日程:7月~8月 会場:千葉市文化センター 第2リハーサル室 定員:各コース30人 受講料:10,000円	受講者数60人	総事業費 960	総事業費 889	C	受講者数が前年度と比較して若干の減少がみられた。応募方法について検討したい。
6	基本施策2 (1) ②		創作市民ミュージカル	文化センターにおいて、市民主体の活動を促進するため、市民有志によって結成された実行委員会が主体となって行う創作市民ミュージカルを支援する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	2020年に開催を予定している創作市民ミュージカル本番公演に向けた準備作業を行った。 ・本番公演までの計画作成。 ・原作・脚本/高平九、演出・脚色/小笠原響、作曲/日高哲英、振付/小林真梨恵に決定。 ・千葉を題材とした原作の応募13作品の中から原作決定。脚本の完成。	準備作業の完了		千葉を題材にした原作の応募13作品の中から選ばれた作品を元に制作された脚本によりワークショップを実施する。 ※文化センター連携公演として市民会館で2020年に発表公演を実施する。 日程:11月~3月 会場:千葉市文化センター スタジオ I ほか 定員:100人 受講料:30,000円	参加者数100人	総事業費 811	総事業費 3,971	B	
7	基本施策2 (1) ③	基本施策3(2)①	若葉芸能フェスティバル	若葉文化ホールにおいて、隣接する千城台コミュニティセンターで日頃よりサークル活動を行っている市民などに、発表の機会を提供する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課-7部文化振興課	会場:千葉市若葉文化ホール 日程:9月1日(土)、2日(日) 出演:千城台コミュニティセンター利用サークル・団体ほか 内容:合唱・ダンス・舞踊等 参加団体:19団体 参加者:3098名	参加団体:15団体程度		会場:千葉市若葉文化ホール 日程:10月 出演:千城台コミュニティセンター利用サークル・団体ほか 内容:合唱・ダンス・舞踊等	参加団体:15団体 参加者:3000名	総事業費 1,427	総事業費 1,280	A	通常、併設する千城台CCまつりと同時開催だったが、今年はホール休館に伴い独自開催。そこで千城台CC利用者だけでなく、市内全域に参加募集を行い、昨年を上回る団体に参加いただいた。

(2) 芸術家の発掘と育成

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	主催									
1	基本施策2 (2) ①		芸術文化新人賞	千葉市にゆかりのある将来の活躍が期待される新進気鋭の芸術家を表彰する。	市	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施 推薦件数:25件	推薦件数の増加 (平成29年度 23件)	・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施 推薦件数:25件	推薦件数の増加 (平成30年度 25件)	総事業費 1,425	総事業費 1,430	B	
2	基本施策2 (2) ②	基本施策1(2)① 基本施策3(1)② 基本施策5(2)①	新人賞サポートプログラム	芸術文化新人賞(新人賞・奨励賞)受賞者によるコンサートや展示会等を開催し、活躍の場や飛躍の契機となる機会を提供する。	その他 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	千葉市芸術文化新人賞及び奨励賞受賞者を市民に周知するためのコンサートや展示会を実施した。 ・コンサートVol.1 澤田香萌 8月3日(金) 幕張テクノガーデン 2Fアトリウム 入場者数250人 ・コンサートVol.2 渡辺海智 2月2日(土) 生涯学習センター 1Fアトリウムガーデン 入場者数400人 ・展示会Vol.1 江上越 8月24日(金)～26日(日) 文化センター 5F市民サロン 入場者数180人 ・展示会Vol.2 地村洋平 2月1日(金)～3日(日) 文化センター 5F市民サロン 入場者数142人 入場者数 合計972人	延べ来場者数各200人	千葉市芸術文化新人賞及び奨励賞受賞者を多くの市民に紹介するため、コンサートや展示会等を実施する。 ・日程 8月～3月(5回実施) ・会場 文化センター 5F市民サロン、幕張テクノガーデン 2Fアトリウム、生涯学習センター 1Fアトリウムガーデン	延べ来場者数500人	総事業費 474	総事業費 822	B	
3	基本施策2 (2) ②	基本施策5(2)①	芸術文化新人賞受賞者による展覧会	ギャラリー・いなげにおいて、美術分野の芸術文化新人賞(新人賞・奨励賞)受賞者による展覧会を開催し、受賞者に発表の場を提供することで活躍の機会の創出を図る。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	【創造海岸いなげ展】 開催日:8月14日(火)～26日(日) 来場人数:597人 特記:出品作家3名の内、1名の和田的氏は千葉市芸術文化新人賞受賞作家	来場者数:800人	令和元年度は該当する作家の出品はなし。		総事業費 239	総事業費 0	C	展示会場として使用していた文化財の旧神谷邸が休館中だったため、来場者数に影響が生じた

(3) 文化芸術活動を支える人材の育成

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
1	基本施策2 (3) ①		音楽ファンリテータ養成講座	文化センターにおいて、アーティスト等を対象に、地域や学校などで音楽のワークショップをできるような実践的なスキルを学ぶ講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	千葉市にゆかりのある音楽系アーティスト等を対象に、実践的なファンリテーション講座を行った。 周知する場としての「体験講座」(無料)と手法を学び実際にワークショップを創る基礎を学ぶ「創造講座」(有料)を実施した。 【体験講座】 日程:6月9日(土) 会場:千葉市文化センター スタジオ I 定員:30人 受講料:無料 参加者数21人 【創造講座】 日程:11月10日(土)・11日(日)・17日(土) 会場:千葉市文化センター スタジオ I 定員:20人 受講料:4,000円 参加者数7人	受講者数各30人	千葉市にゆかりのある音楽系アーティスト等を対象に、実践的なファンリテーション講座を行う。 前年度までの音楽ファンリテータ養成講座の参加者を対象とした「フォローアップ講座」(無料)と、実際にワークショップを創る基礎を学ぶ「創作講座」(有料)を実施する。 日程:5月～11月 会場:千葉市文化センター スタジオ I 定員:フォローアップ講座/10人 創造講座/30人 受講料:フォローアップ講座/無料 創造講座/4,000円	受講者数40人	総事業費 795	総事業費 867	C	広報宣伝に努めたが、結果的には参加者が定員に満たなかった。講座の構成・広報の方法を検討したい。
2	基本施策2 (3) ①		舞台セミナー	文化センターにおいて、音響・照明など舞台芸術の運営に必要な人材を育成するセミナーを開催する。また、ホールに限らず野外公演等でも活躍できるようにフォローアップを行う。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	中学生・高等学校部活動で役に立つ舞台技術のスキルアップを図る。また、各役割の違いを理解し、チームワークの大切さを楽しみながら学ぶことで、今後の部活動に生かせるような講座を提供する。 日程:1月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日) 会場:千葉市文化センター アートホール 受講者数:45人 受講料:1,000円	受講者数60人	舞台芸術を支える技術者として活躍できる人材を育成する。バックステージ見学や実技講習を学び舞台技術を習得する講座を提供する。 日程:2月 会場:千葉市文化センター アートホール 受講料:2,000円	受講者数30人	総事業費 533	総事業費 544	B	
3	基本施策2 (3) ①		アートマネジメント講座	文化センターにおいて、アートプロジェクトや公演などを企画・運営する担い手となるアートマネージャーを育成する講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	芸術文化に精通する講師を招き、市民を対象にアートマネジメント講座を実施した。芸術文化に関する講演のほか、先進取組事例を紹介することで、アートプロジェクトや公演などを企画・運営できるような担い手を増やすことを目的として、全3回にて講座(2回目は無料公開講座)を実施した。 日程:10月2日(火)・9日(火)・16日(火) 会場:千葉市文化センター 会議室 定員:40人 受講料:通し券2,500円 1日権1,500円 参加者数2日15人、9日10人、16日7人	受講者数各40人	芸術文化に精通する講師を招き、市民を対象にアートマネジメント講座を開催する。 地域の文化活動に携わる市民を対象とし、参加者が本講座で得た知識で各々の活動の向上に繋げられるよう実施する。 日程:10月 会場:千葉市文化センター 会議室 定員:40人 受講料:無料	受講者数40人	総事業費 497	総事業費 383	C	広報宣伝に努めたが、結果的には参加者が定員に満たなかった。講座の構成・広報の方法を検討したい。

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
4	基本施策2 (3) ①		市民文化育成事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、千葉市の文化芸術活動を支える人材を育成するため、必要な知識やノウハウの講座を実施する。また、千葉市の文化や魅力を発見し、効果的な発信につながる講座を実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課		①会場:千葉市美浜文化ホールメインホール 日程:8月22日(水)、9月15日 内容:東京オリンピック・パラリンピック競技の開催地として、歴代オリンピック・現役選手とともに、オリンピック競技の魅力を地域の皆様に伝える講座。8月「フェンシング・車いすフェンシング」9月「テコンドー・パラテコンドー」を実施。 当日参加人数:8月335名 9月258名 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:1月~2月 内容:若葉区在住・在学の児童を中心に、すべての児童に分け隔てなく共通の文化体験の機会を創出する。シールアーティストの大村雪乃さんを講師に招き、シールアートワークショップを実施 当日参加人数:24名	①参加予定人数:300人程度 ②参加予定人数:20人程度	①会場:千葉市美浜文化ホール諸室 日程:8月 内容:「おもてなし講座」千葉市芸術文化新人賞の藤蔭静寿さん、朝香麻美子さんに協力いただき、和服を着用しての美しい振る舞い(所作)を学ぶ講座。年々増加する訪日外国人に日本文化の魅力を伝える人材の育成 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:9月~10月 内容:若葉区在住・在学の児童を中心に、すべての児童に分け隔てなく共通の文化体験の機会を創出する。	①参加予定人数:20名程度 ②参加予定人数:20名程度	総事業費 3,399	総事業費 6,260	A	①フェンシング協会太田雄貴会長、ロンドン銀メダル三宅諒選手など著名人をゲストに招き、フェンシング、そして車いすフェンシングの魅力を紹介。テコンドー編ではテコンドー協会副会長岡本依子さんをゲストにテコンドーの魅力を紹介。ともに初めて競技を見るという市民が多数来場され、気運醸成を目的とした事業として一定の成果を出した事業。 ②においては、地域小学校の特殊支援学級のアウトリーチを、ホールでもワークショップとして実施。地域の多くの小学生が参加し、アートに親しんだ。
5	基本施策2 (3) ①		図工・美術担当者等教職員一日研修	千葉市教育研究会造形部会と協力して、美術等での美術館活用を促し、鑑賞教育への理解を深めるための研修を美術館で行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課		夏季休業期間に実施 実施日:8月23日 参加者数:10人	年1回	夏季休業期間に実施	年1回	総事業費 0	総事業費 0	B	
6	基本施策2 (3) ①		教育委員会中学校造形部会との連携	鑑賞教育や授業での美術館活用について意見交換のほか、市内中学校美術部の合同鑑賞プログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課		夏季休業期間に美術部合同鑑賞会を実施 実施日:7月25日、7月26日 参加校数:5校 参加者数:67人	年1回	夏季休業期間に美術部合同鑑賞会を実施	年1回	総事業費 0	総事業費 0	B	
7	基本施策2 (3) ②		ボランティア育成講座	文化センターにおいて、施設内外の文化芸術事業をサポートする文化ボランティアを育成する講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課		これからボランティアを始めたいと考えている、さらには活動のスキルアップをしたい市民向けに接遇の心得、障がいのある方をホールで誘導する際の注意点を学ぶなど、サービス研修等の講座を2コース実施した。 日程:【講座】9月11日(火) 【実践研修】9月29日(土)・10月8日(月・祝)・11月3日(土) (選択式) 会場:千葉市文化センター アートホール 定員:各20人 受講料:無料 参加者数:身体障害(車いす利用者)コース20人 視覚障害コース22人	受講者数20人	これからボランティアを始めたいと考えている、さらには活動のスキルアップをしたい市民向けに接遇の心得、障がいのある方をホールで誘導する際の注意点を学ぶなど、サービス研修等の講座を実施する。 日程:9月~3月 2回程度(講座、実践) 会場:千葉市文化センター 会議室 定員:20人 受講料:無料	受講者数20人	総事業費 139	総事業費 174	B	
8	基本施策2 (3) ②		若葉・美浜文化ホール ボランティア育成事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、施設の文化芸術事業をサポートし、ホール運営の補助を務める文化ボランティアを育成し、文化芸術を支える裾野の拡大を図る。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課		会場:美浜文化ホール 8/10日本舞踊公演「新作:桃太郎」 8/22オリパラレクチャーLIVE「フェンシング・車いすフェンシング」編 9/15オリパラレクチャーLIVE「テコンドー・パラテコンドー」編にて稼働 日程:適宜実施 内容:ボランティアスタッフ育成 3/2こどもまつり、3/3こども支援事業、9/1.2芸術フェスにて稼働	自主事業・共催事業時に適宜実施	会場:美浜文化ホール・若葉文化ホール 日程:適宜実施 内容:ボランティアスタッフ育成	自主事業・共催事業時に適宜実施	総事業費 1,298	総事業費 885	B	
9	基本施策2 (3) ②		美術館 ボランティア	美術館において、美術館事業をわかりやすく案内できる美術館ボランティアとして必要となる知識・技術を習得するため、研修を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課		研修・勉強会を実施。 平成30年度より加入の5期スタッフに対しては、特に現場での経験を積み、スキルアップできる機会を用意する。 ボランティア研修会1回 参加者数32人 鑑賞リーダー学習会8回、現代美術勉強会6回、浮世絵勉強会4回	通年	研修・勉強会を実施	通年	総事業費 27	総事業費 30	B	
10	基本施策2 (3) ②		市民活動支援センター	市民のボランティア活動やNPO活動などを支援する施設として、活動に必要な情報を提供しているほか、各団体のイベント情報や参加募集案内などを紹介する。	指定管理料	市民局 市民自治推進部 市民自治推進課		(1)ボランティア情報の提供 情報揭示数689件 (2)ボランティアに関する相談 187件 (3)会議室の提供 735件 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 ボランティア情報揭示数の増加 (平成29年度710件) (2)ボランティアに関する相談 相談件数の増加 (平成29年度249件)	(1)ボランティア情報の提供 (2)ボランティアに関する相談 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 ボランティア情報揭示数の増加 (平成30年度 689件) (2)ボランティアに関する相談 相談件数の増加 (平成30年度187件)	総事業費 9,937	総事業費 9,560	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
11	基本施策2 (3) ②	基本施策4(2)①	ことぶき大学校運営事業	高齢者自ら知識・技能を習得し、仲間づくり地域活動への積極的な参加を通じて、豊かで充実した生活が送れるように学習と活動の場を提供する。 また、卒業後に習得した知識や技能を活用し、本市事業や地域活動に積極的に参加する地域活動リーダーやボランティア活動などを行う人材を育成する。	(社福)千葉市社会福祉事業団	保健福祉局 高齢障害部 高齢福祉課	【ボランティア実践コース】 【福祉健康学科】 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など 入学者:59人 【園芸学科】 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 入学者:55人 【創造活動コース】 【美術学科】 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など 入学者:19人 【陶芸学科】 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 入学者:22人 授業日数:年間28日 定員:福祉健康学科90人(3クラス)、園芸学科60人(2クラス) 美術学科30人(1クラス)、陶芸学科:30人(1クラス) 【多世代交流講座】 内容:学生と小学生との世代間交流を目的とした講座を実施する。 開催日:陶芸教室 7月26日、7月27日、8月23日の3日間 各日2時間30分 園芸教室 10月20日 2コース 各コース2時間20分 会場:陶芸教室 ことぶき大学校教室 園芸教室 富田都市農業交流センター 参加者:陶芸教室 小学生13人 ことぶき学生20人 園芸教室 小学生54人 ことぶき学生38人	【ボランティア実践コース】 【福祉健康学科】 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など 【園芸学科】 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 【創造活動コース】 【美術学科】 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など 【陶芸学科】 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 授業日数:年間28日 定員:福祉健康学科90人(3クラス)、園芸学科60人(2クラス) 美術学科30人(1クラス)、陶芸学科:30人(1クラス) 【多世代交流講座】 内容:学生と小学生との世代間交流を目的とした講座を実施する。 開催日:陶芸教室 7・8月の3日間 各日2時間30分 園芸教室 10月末 2コース 各コース2時間20分 会場:陶芸教室 ことぶき大学校教室 園芸教室 富田都市農業交流センター 定員:陶芸教室 小学生18人 ことぶき学生18人 園芸教室 小学生50人 ことぶき学生50人	【ボランティア実践コース】 【福祉健康学科】 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など 【園芸学科】 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 【創造活動コース】 【美術学科】 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など 【陶芸学科】 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 授業日数:年間28日 定員:福祉健康学科90人(3クラス)、園芸学科60人(2クラス) 美術学科30人(1クラス)、陶芸学科:30人(1クラス) 【多世代交流講座】 内容:学生と小学生との世代間交流を目的とした講座を実施する。 開催日:陶芸教室 7・8月の3日間 各日2時間30分 園芸教室 10月末 2コース 各コース2時間20分 会場:陶芸教室 ことぶき大学校教室 園芸教室 富田都市農業交流センター 定員:陶芸教室 小学生18人 ことぶき学生18人 園芸教室 小学生50人 ことぶき学生50人	総事業費 16,437	総事業費 15,500	B			
12	基本施策2 (3) ②		ちば生涯学習ボランティアセンター	市内で活躍する、様々な分野の知識や技能を有し、ボランティアとして活躍する意欲をもった市民や団体の情報を収集し、主に市内の公共施設等で学習活動を行っている団体等とのコーディネートを行い、市民の生涯学習活動及びボランティア活動の支援を行う。	(公財)千葉市教育振興財団	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	・登録者の受付・コーディネート ・情報紙「ボランティア・タイム」を発行(7月、11月、3月) ・ボランティアセンター活動促進事業として、講座「春からはじめる!ボランティア 千葉市のボランティア関連施設活用術」を実施 ・ボランティアセンター登録者の紹介として、ボランティアフェア2018を実施 ・各種研修事業(生涯学習指導者基礎研修等)で登録ボランティアに活動発表の機会を提供 ・ボランティアセンターの登録者名簿を市内公共施設へ配布の他、町内自治会向けチラシを作成し、名簿と共に配布。 ・ボランティアセンターの登録者名簿作成(3月更新) ・ボランティア登録者スキルアップ研修実施 ・登録者数:1,743人 ・利用件数:234件	多くのボランティアに活動機会を提供する。 ・登録者数:1,700人 ・利用件数:240件	・登録者の受付・コーディネート ・情報紙「ボランティア・タイム」を発行(7月、11月、3月) ・ボランティアセンター活動促進事業として、講座「春からはじめる!ボランティア 千葉市のボランティア関連施設活用術」を実施 ・ボランティアセンター登録者の紹介として、ボランティアフェア2019を実施 ・各種研修事業(生涯学習指導者基礎研修等)で登録ボランティアに活動発表の機会を提供 ・ボランティアセンターの登録者名簿を市内公共施設へ配布の他、町内自治会向けチラシを作成し、名簿と共に配布。 ・ボランティアセンターの登録者名簿作成(3月更新) ・ボランティア登録者スキルアップ研修実施	多くのボランティアに活動機会を提供する。 ・登録者数:1,750人 ・利用件数:250件	総事業費 0	総事業費 0	B		
13	基本施策2 (3) ②		施設ボランティア養成研修	施設ボランティアとして活動するにあたって必要となる知識・技術を習得するため、研修を行う。	(公財)千葉市教育振興財団	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	(基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識習得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。 (専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。 千葉市立郷土博物館・千葉市立加曾利貝塚博物館・千葉市美術館・千葉市生涯学習センターの施設ボランティアを志望する市民を対象とし、合同で基礎講座を実施する。 日程:6月27日～7月24日 場所:生涯学習センター ・郷土博物館 6人 ・加曾利貝塚博物館 7人・生涯学習センター 10人 ・修了者率95%	修了者率95%以上 ※規定の時間数を受講する等により修了証を発行された者	(基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識習得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。 (専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。 千葉市立郷土博物館・千葉市立加曾利貝塚博物館・千葉市美術館・千葉市生涯学習センターの施設ボランティアを志望する市民を対象とし、合同で基礎講座を実施する。 日程:6月27日～7月18日 場所:生涯学習センター 募集人数:郷土博物館10人、加曾利貝塚博物館10人、生涯学習センター15人、中央図書館10人 ※美術館は募集なし	修了者率95%以上 ※規定の時間数を受講する等により修了証を発行された者	総事業費 190	総事業費 201	B		

基本施策3 文化芸術を育む場を「支える」

(1)文化芸術活動の場の充実

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
1	基本施策3 (1) ①		文化施設の効果的な運営	市内文化施設において、各施設の利用向上につながる割引の設定や多言語化などを図る。	(公財)千葉市文化振興財団ほか	指定管理者	市民局生活文化課一部文化振興課	【千葉市文化振興財団】 ①施設利用者数(※) 市民会館 398,346人 ②使用件数(※) 市民会館 3,871件、文化センター3,705件 ③施設稼働率(※) 市民会館53.54%、文化センター41.32% ④ホール稼働率(平日) 市民会館63.38%、文化センター45.83% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館84.35%、文化センター77.62% ⑥実芸芸術公演本数 市民会館 32本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター1,047件 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日(※)…楽屋を除く 【美浜・若葉文化ホール】 ①施設稼働率 若葉文化ホール 36.70% 美浜文化ホール 51.96% ②ホール稼働率(平日) 若葉文化ホール 39.12% 美浜文化ホール メインホール 46.50% 音楽ホール 60.70% ③ホール稼働率(土日祝) 若葉文化ホール 81.11% 美浜文化ホール メインホール 87.98% 音楽ホール 92.11% ④割引利用件数 若葉文化ホール 562件 美浜文化ホール 367件(リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、セット割、学校割引30、50、 夜間追加割引、リハーサル室直前割引、スタジオ割引(期間限定)) 稼働向上の為に、昨年末での期間限定であった新たな割引サービス(リハーサル室直前割引)を本年で開始した。 開始後、若葉文化ホールのリハーサル室稼働が大きく向上した。 ※施設稼働率には楽屋は含まない 【千葉市美術館】 ○友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、特に賛助会員(個人・法人)の入会促進を図る。 ○施設稼働率→稼働率向上のため、夜間区分と全日利用の割引料金の設定。 ○施設稼働率→稼働率向上のため、夜間区分と全日利用の割引料金の設定。 友の会会員数→一般会員数1,346人、賛助会員数37件 施設稼働率→施設全体での稼働率43% 【千葉市民ギャラリー・いなげ】 ①展示室・制作室稼働 66% ②展示室・制作室利用者数26686人	【千葉市文化振興財団】 ①施設利用者数(※) 市民会館 355,000人 ②使用件数(※) 市民会館 4,400件、文化センター4,100件 ③施設稼働率(※) 市民会館59%、文化センター45% ④ホール稼働率(平日) 市民会館60%、文化センター44% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館78%、文化センター76% ⑥実芸芸術公演本数 市民会館 24本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター 最終年度10%増 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日(※)…楽屋を除く 【美浜・若葉文化ホール】 リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、セット割、学校割引30、50、 夜間追加割引、リハーサル室直前割引(若葉のみ)、スタジオ割引(美浜のみ)(期間限定) 【千葉市美術館】 ○友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、特に賛助会員(個人・法人)の入会促進を図る。 ○施設稼働率→ホームページでのPR、夜間および全日利用の割引料金設定で利用促進を図る。 【千葉市民ギャラリー・いなげ】 ①展示室・制作室稼働率55% ②展示室・制作室利用者数3900人	【千葉市文化振興財団】 ①施設利用者数(※) 市民会館 355,000人 ②使用件数(※) 市民会館 4,400件、文化センター4,100件 ③施設稼働率(※) 市民会館59%、文化センター45% ④ホール稼働率(平日) 市民会館60%、文化センター44% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館78%、文化センター76% ⑥実芸芸術公演本数 市民会館 24本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター 最終年度10%増 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日(※)…楽屋を除く 【美浜・若葉文化ホール】 リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、セット割、学校割引30、50、 夜間追加割引、リハーサル室直前割引(若葉のみ)、スタジオ割引(美浜のみ)(期間限定) 【千葉市美術館】 ○友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、特に賛助会員(個人・法人)の入会促進を図る。 ○施設稼働率→ホームページでのPR、夜間および全日利用の割引料金設定で利用促進を図る。 【千葉市民ギャラリー・いなげ】 ①展示室・制作室稼働率55% ②展示室・制作室利用者数3900人	0	0	B		
2	基本施策3 (1) ①		舞台芸術創造ワークショップ公演	各施設の色を有効に活用するため、文化センターでワークショップを行い、文化センターで公演を実施する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理者	市民局生活文化課一部文化振興課	舞台芸術創造ワークショップ公演として、文化センターで実施する舞台芸術創造ワークショップの発表公演とプロによる公演を一体の企画として開催した。 日程:10月8日(月・祝) 会場:千葉市文化センターアートホール 料金:一般3,000円、大学生以下2,000円 入場者数:227人	入場者数430人	舞台芸術創造ワークショップ公演として、文化センターで実施する舞台芸術創造ワークショップの発表公演とプロによる公演を一体の企画として開催する。事業名を舞台芸術創造ワークショップ公演に変更し千葉市文化センターアートホールで実施する。 日程:8月 会場:千葉市文化センターアートホール 料金:一般3,000円、大学生以下2,000円	入場者数440人	2,244	2,381	C	PRに努めた が、チケットの 売上げに結び つかなかった。 公演の編成、 広報の方法を 検討したい。
3	基本施策3 (1) ①	基本施策5(1)①	美術品の収集	美術館の展示を充実させるため、美術品収集の基本方針(①郷土作家の作品を中心とした房総ゆかりの作家・作品、②日本の文化の核を形成する近世以降の美術品、③現代美術)に沿った作品を美術館所蔵作品として収集する。	市	市	市民局生活文化課一部文化振興課	1.房総ゆかりの作品、2.近世から近代の日本画版画、3.現代美術という収集基本方針に沿って、美術館の所蔵品として良質な美術品の収集をおこなう。なお美術品の収集にあたっては、外部の学識者で組織される千葉市美術品等収集審査会において審査を受ける。 情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。 収集委員会 開催日:2月4日 購入作品: 2件 評価額計: 6,500,000円 寄贈作品: 200件 評価額計: 51,194,000円 寄託作品: 143件 評価額計: 63,075,000円	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。 情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	211	216	B	
4	基本施策3 (1) ①		他美術館との連携	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、都内等の美術館との連携により、多言語化対応、Wifi対応及び共通パスポートについて検討する。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理者	市民局生活文化課一部文化振興課	東京都主催の【一都三県の連携した取組】実務担当者会議への参加 開催日時 2月18日 議題 (1)周遊性の向上について(2)美術館・博物館の機能向上・利便性向上について(キャッシュレス、多言語対応、写真撮影機会の拡充、開館時間延長他)(3)その他 2020年に向けた取組について:手荷物検査など	通年	東京都主催の【一都三県の連携した取組】実務担当者会議への参加	通年	0	0	B	
5	基本施策3 (1) ①	基本施策1(1)①	ミュージアムトライアングル連携事業	美術館、科学館の2つのミュージアムが連携しネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。	市	指定管理者	教育委員会事務局生涯学習課	美術館、科学館の2つのミュージアムが連携しネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。そのために、積極的に相互割引の実施をPRしていく。 相互割引利用者 70人(科学館→美術館 34人、美術館→科学館 36人)	相互割引利用者100人	美術館、科学館の2つのミュージアムが連携しネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。今後は、ホームページでの告知やチラシの配布等、積極的に相互割引の実施の周知を図る。 また、今年度は地元商店街と協力する「街でお得なサービス」を開催し、さらなる周知を図る。	相互割引利用者100人	0	0	C	相互割引を行っていること のPRが不足して いたため。
6	基本施策3 (1) ①		千葉市美術館拡張整備工事	文化面から千葉都心への集客を図るため、中央区役所移転後の跡スペースを活用し、建物全体を美術館とするための工事を行う。	市	市	市民局生活文化課一部文化振興課	実施設計の完了	-	実施設計に基づき、拡張整備工事を行う。 工期:平成31年3月~令和2年3月予定(令和元年5月より本格着工)	工事の完了	0	1,364,300	-	新規掲載事業

(2) 活動しやすい環境の整備

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考	
					市の関わり	主催										
1	基本施策3 (2) ①	基本施策2(1)② 基本施策2(1)③	芸術文化振興事業補助金	芸術文化団体が実施する市民参加や人材育成が期待できる芸術文化事業に対し、補助金を交付する。	市	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	下記事業に対する補助金を交付する。 ①市民参加事業 事業に関わる団体(主催者・共催者)の構成員や会員以外の市民の事業参加が見込まれる事業(補助上限20万円):6事業 ②市民育成事業 芸術文化活動をする人材を、2~3年間の複数年で継続的・段階的に育成・支援する事業(補助上限30万円):1事業 ③市民参加特別事業 内容、規模等において通例を凌ぐ大規模事業で、幅広い市民の事業参加と、多くの集客が見込まれる事業(補助上限150万円):1事業 出演者見込み数3,912人 観客動員見込み数8,512人	出演者見込み数3,912人 観客動員見込み数8,512人	下記事業に対する補助金を交付する。 ①市民参加事業 事業に関わる団体(主催者・共催者)の構成員や会員以外の市民の事業参加が見込まれる事業(補助上限20万円):10事業 ②市民育成事業 芸術文化活動をする人材を、2~3年間の複数年で継続的・段階的に育成・支援する事業(補助上限30万円):1事業 出演者見込み数3,910人 観客動員見込み数10,490人	出演者見込み数3,910人 観客動員見込み数10,490人	総事業費 2,826	総事業費 2,300	B		
2	基本施策3 (2) ①		アーツステーションちば【文化団体サポート】	市民主体による文化芸術活動の活性化を図るため、市内文化芸術団体の活動を支援する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	①団体助成 利用団体が練習のためにホールを使用する場合の会場使用料の一部を助成し、将来のホール公演開催の後押しをする。 日程:6月2日、7月23日・31日 会場:千葉市文化センター アートホール 定員:3団体 参加費:1団体20,000円 参加団体:3団体 ②団体事務局の運営 千葉市文化連盟など団体事務局の運営をおこなう。	3団体	①団体助成 利用団体が練習のためにホールを使用する場合の会場使用料の一部を助成し、将来のホール公演開催の後押しをする。 日程:通年 9:00~17:00 会場:千葉市文化センター アートホール 定員:3団体 参加費:1団体20,000円 ②団体事務局の運営 千葉市文化連盟など団体事務局の運営をおこなう。	3団体	総事業費 277	総事業費 372	B		
3	基本施策3 (2) ②	基本施策1(1)② 基本施策1(2)① 基本施策2(2)② 基本施策2(3)①	スタートアップチャレンジ事業	文化センターにおいて、市民等から幅広く企画を公募し、事業を実施することで、文化芸術事業の企画運営を経験してもらう。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民から企画アイデアを公募し、アーツステーション登録の人材(アーティスト・ボランティアなど)の活用など、サポートしながら企画を実現することで、実践的な経験をってもらうことを目的に実施した。 ①企画募集 募集期間:7月1日(日)~8月23日(木) 応募条件:参加型の公演の企画 募集企画数:2企画 料金:無料 応募数:4企画 ②公演 日程:2月16日(土)、3月16日(土) 会場:千葉市文化センター スタジオ I 入場料:2月16日(土)100円、3月16日(土)1,000円 来場者数:2月16日(土)66人、3月16日(土)21人	①応募企画数5企画 ②参加者数30人	市民から企画アイデアを公募し、アーツステーション登録の人材(アーティスト・ボランティアなど)の活用など、サポートしながら企画を実現することで、実践的な経験をってもらう。	①企画募集 募集期間:7月~8月 応募条件:参加型の公演の企画 募集企画数:2企画 料金:無料 ②公演 日程:2月~3月 会場:千葉市文化センター スタジオ I 入場料:1,000円未満	①応募企画数5企画 ②参加者数30人	総事業費 138	総事業費 231	B	

(3) 伝統文化の継承・発展

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	主催									
1	基本施策3 (3) ①		小学生いなげ講座	市民ギャラリー・いなげにおいて、小学生を対象に「稲毛一海の記憶」を伝える講座を開催する。子供たちに貴重な文化財がある街を誇りに思ってもらえるよう、旧神谷伝兵衛稲毛別荘のガイドと共に稲毛の歴史を解説する。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	開催日:年間通して随時受け入れ 場所:千葉市民ギャラリー・いなげおよび旧神谷伝兵衛稲毛別荘 参加校:4校	参加校 10校	開催日:年間通して随時受け入れ 場所:千葉市民ギャラリー・いなげおよび旧神谷伝兵衛稲毛別荘 参加校:10校 特記:平成30年6月1日~平成32年1月まで旧神谷伝兵衛稲毛別荘が耐震改修工事に伴い休館となるため、参加校はあまり見込めない可能性が高い。対策として希望校には稲毛の海辺の歴史を伝えるスライドショーによる講座を提案する予定。	参加校 10校	総事業費 1	総事業費 10	C	旧神谷伝兵衛稲毛別荘が耐震改修工事に伴い平成30年6月より休館となったため、参加校はあまり見込めなかった。
2	基本施策3 (3) ①		郷土芸能の周知啓発	神楽・お囃子等の市内に伝わる郷土芸能に対する市民の理解を深め、ふるさと意識を醸成するために周知啓発を行う。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	教育委員会事務局生涯学習部文化財課	市内に伝わる郷土芸能を紹介するホームページ(千葉市の民俗芸能)のコンテンツ充実 平成30年4月~平成31年3月のアクセス件数 382件	アクセス数の増加 500件	市内に伝わる郷土芸能を紹介するホームページ(千葉市の民俗芸能)のコンテンツを充実させる。	アクセス数の増加 500件	総事業費 0	総事業費 0	C	対前年比では微増(+19件)したが、目標の500件には達しなかった。 ホームページ更新の上で必要な写真データ等の入手に課題があり、コンテンツ充実を推進できなかったため。
3	基本施策3 (3) ②		市民ギャラリー・いなげ旧神谷伝兵衛稲毛別荘の改修	保存活用計画に基づく施設の改修を実施し、歴史的建造物の保存とともに、地域の文化活動・交流の場としての活用を推進する。	市	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	耐震改修工事に着手(平成30年11月22日~)	予定工事の実施	平成30年度に引き続き耐震改修工事を行う。 工期:平成30年11月22日~令和2年1月下旬予定(2カ年継続事業)	工事の完了	総事業費 15,499	総事業費 63,700	B	
4	基本施策3 (3) ②	基本施策5(1)① 基本施策4(2)①	地域の歴史文化発掘の場をつくる	地域住民や専門家が集い、地域の歴史文化を発掘、情報共有していく場をつくる。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	①「いなげお話し会」 開催日:7月8日(日)、12月1日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:27人 ②「カフェkaiki」 平成30年度は旧神谷伝兵衛稲毛別荘の耐震改修工事期間であったため開催はなし。	参加人数:30人	①「いなげお話し会」 開催日:7月6日(日)、11月予定 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加見込人数:30人 ②「カフェkaiki」 令和元年度も引き続き旧神谷伝兵衛稲毛別荘の耐震改修工事期間にあたるため開催しない可能性が高い。	参加人数:30人	総事業費 25	総事業費 55	B	
5	基本施策3 (3) ②		郷土芸能の後継者養成	神楽をはじめお囃子・獅子舞等の郷土芸能を伝承する団体による、後継者養成を支援し、継承・発展を図る。	千葉市郷土芸能保存協会	教育委員会事務局生涯学習部文化財課	教育委員会事務局生涯学習部文化財課	千葉市郷土芸能保存協会に加盟する10の無形民俗文化財保持団体(神楽連・囃子連)がそれぞれ後継者育成事業を実施 参加延べ人数 2,710人	参加延べ人数 2,500人	千葉市郷土芸能保存協会に加盟する10の無形民俗文化財保持団体(神楽連・囃子連)がそれぞれ後継者育成事業を実施	参加延べ人数 2,800人	総事業費 559	総事業費 574	B	

基本施策4 千葉文化の担い手を「つなぐ」

(1)情報の効果的な収集・発信

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
1	基本施策4 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	海気通信 周辺散策マップ	市民ギャラリー・いなげにおいて、地域の歴史や記憶を地元住民から伺う機会を設け(いなげお話し会)、そこから得られた魅力的な情報を「海気通信」として広く発信する。また、稲毛地域を周遊できる散策マップを作成し、地域の見どころを発信する。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理者	市民局生活文化課 文化振興課	発行回数:周辺散策マップ1回、海気通信1回 配布先:市内の文化・教育施設、小中学校、商店、メディアほか 特記:平成30年度は稲毛地域で開催される夜灯まつりの会場マップおよびポスターの制作も担当。千葉ゆかりの写真家が撮影した夜灯祭りの写真を前面に打ち出し、地域の魅力を発信した。	発行回数 計4回	発行回数:周辺散策マップ1回、海気通信2回 配布先:市内の文化・教育施設、小中学校、商店、メディアほか 特記:周辺散策マップは来館者の意見を反映し、掲載地域を拡大すると共に、地域の情報を一層充実させる。	発行回数:3回	総事業費 97	総事業費 100	B	
2	基本施策4 (1) ②		アーツステーションちば 【情報収集・発信】	文化センターにおいて、文化芸術振興の拠点施設として市内外の文化芸術情報を収集するとともに、様々なツールを用いて戦略的かつ効果的に情報を発信する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理者	市民局生活文化課 文化振興課	様々なツールを駆使して文化芸術情報の収集・発信拠点を構築する。 ①文化情報アーカイブの構築に向けた検討 ②文化情報ポータルサイト「アーツステーション」の開設準備 ③文化情報誌「あでるは」のリニューアル(A4判、8ページ、隔月25日・10,000部発行) あでるは読者ハガキ 105通 ④「アーツステーション」アカウントのSNSによる発信 フェイスブック評価「いいね」407件	①構想の立案 ②ポータルサイト開設準備 ③あでるは読者ハガキ120通 ④フェイスブック評価「いいね」数350件	様々なツールを駆使して文化芸術情報の収集・発信拠点を構築する。 ①文化情報アーカイブの構築に向けた検討 ②文化情報ポータルサイト「アーツステーション」の開設準備 ③あでるは読者ハガキ120通 ④フェイスブック評価「いいね」数350件 ④「アーツステーション」アカウントのSNSによる発信	①構想の立案 ②ポータルサイト開設準備 ③あでるは読者ハガキ120通 ④フェイスブック評価「いいね」数350件	総事業費 2,675	総事業費 3,031	B	

(2)多様な協働・連携の促進

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
1	基本施策4 (2) ①		アーツステーションちば 【交流サロン】	文化センターにおいて、市民が気軽に訪れることができる文化芸術情報の総合窓口として、よろず相談、交流スペースの情報を掲示するほか、活動者の交流を促す親睦交流会も定期的に開催する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理者	市民局生活文化課 文化振興課	市内のイベント情報を掲示しミーティング等にも活用できる交流サロンを開設し、市民が気軽に文化芸術に関する様々な相談ができる「よろず相談」を実施した。 ①よろず相談:通年、87件 ②親睦交流会:11月22日(木) 参加者数:22人	①相談件数75件 ②交流会1回	市内のイベント情報を掲示しミーティング等にも活用できる交流サロンを開設し、市民が気軽に文化芸術に関する様々な相談ができる「よろず相談」を実施する。 ①よろず相談(通年) ②親睦交流会(年1回)	①相談件数80件 ②交流会1回	総事業費 84	総事業費 85	B	
2	基本施策4 (2) ①		2020おもてなしプロジェクト	文化センターにおいて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて増加が見込まれる訪日外国人等をターゲットとして魅力的な文化イベントを検討する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理者	市民局生活文化課 文化振興課	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け活動している学生団体との連携し、東京オリパラ開催時に効果的に千葉の文化を発信する方法を検討した。 意見交換会 日程:6月25日(月)、8月17日(金)、12月12日(水)、1月30日(水)、2月12日(火)、3月28日(木) 会場:千葉市文化センター 交流サロン ほか	意見交換会2回程度	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け活動している学生団体との連携し、東京オリパラ開催時に効果的に千葉の文化を発信する方法を決定し研修講座とプレイベントを実施。 【研修講座】 日程:9月 会場:千葉市文化センター 会議室 定員:20人 受講料:無料 【プレイベント】 日程:11月 会場:千葉市文化センター 参加料:無料	受講者数20人	総事業費 3	総事業費 209	B	
3	基本施策4 (2) ②		地域連携事業 (夜灯し祭参加)	市民ギャラリー・いなげにおいて、夜灯し祭への参加を通し、地域の持つ歴史的背景を文化芸術を介して紹介することで、地域への愛着及び文化への興味の向上を図る。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理者	市民局生活文化課 文化振興課	開催日:11月24日(土)、25日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ庭園 来場者込み:1096人	来場者数:1000人	開催日:11月23日(土)、24日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ庭園 来場者込み:1000人	来場者数:1000人	総事業費 88	総事業費 95	B	
4	基本施策4 (2) ③	基本施策1(1)① 基本施策4(2)①	千葉アートネットワークプロジェクト (千葉大学との連携事業)	大学・美術館・商店街などの多岐にわたる様々な分野の団体が連携し、アーティストと市民が「アートと千葉の新たな結びつき」を共に模索していくプロジェクトを実施する。	千葉アートネットワーク・プロジェクト実行委員会	実行委員会	市民局生活文化課 文化振興課	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、将来の美術館機能の拡張計画を念頭に、美術館を核とした地域の芸術文化を育成・活性化するためのプログラムを、千葉大学や地域NPO、市内の小・中学校等と連携、市内外の芸術家を招いて実施する。 ①鑑賞教育プロジェクト 展示会での鑑賞ファミリー 開催日:9月26日 協力校:椎名小学校 大学生12人 ②「一緒につくって一緒に食べて～食を通じた共生への試み～」 上映会&パーティー 開催日:3月3日 参加者:60人 成果展示 開催日:3月9日～3月24日 ③千葉大学普通教育教養展開科目「展示を作るA」「博物館実習B」 企画展示 講義 6月3日～7月15日 7回 作業 7月28日、29日 16人 展示 7月31日～8月5日 入場者246人	通年	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、千葉大学や地域NPO、市内の小・中学校等と連携、市内外の芸術家を招いて実施する。	通年	総事業費 665	総事業費 665	B	

基本施策5 文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」

(1) 魅力ある資源の活用

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市	市の関わり									
1	基本施策5 (1) ①		チバリアフリーアートプロジェクト ※H30年度事業名称変更(旧:車椅子アートプロジェクト)	東京2020オリンピックパラリンピック競技大会を契機として、障害者と健常者が共に参加し楽しめる文化芸術施策を実施する。	市 チバリアフリーアートプロジェクト実行委員会	市 生活文化スポーツ部文化振興課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、文化的なアプローチから共生社会の実現を目指すため、ファッションやダンスパフォーマンスなどを通じて、健常者と障害者が一緒に楽しむことができるイベントを実施した。※「東京2020公認文化オリンピックアド」認証イベントとして実施 【チバリアフリー2019】 総来場者数:約2,250人 出演者:67人、スタッフ:89人 ①ステージイベント(ファッションショー、ダンス・手話パフォーマンス等) 開催日:2月3日(日) 1部13:00~13:45/2部15:00~15:45 会場:イオンモール幕張新都心 グランドモール1階 グランドコート 観客数:約1,300人 ②アート展示 開催日:1月31日(木)~2月3日(日) 10:00~17:00 会場:イオンモール幕張新都心 グランドモール3階 イオンホール 観客数:約770人 ③音楽ライブ 開催日:2月3日(日) 14:00~14:30 観客数:約100人 ④ポツチャ・ちぎり絵体験コーナー 開催日:2月3日(日) 10:00~12:30/13:45~14:30/15:45~17:00 会場:イオンモール幕張新都心 グランドモール1階 グランドコート 観客数:約80人	観客数1,300人	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、文化的なアプローチから共生社会の実現を目指すため、ファッションやダンスパフォーマンスなどを通じて、健常者と障害者が一緒に楽しむことができるイベントを実施する。 開催日:1~2月頃予定 会場:イオンモール幕張新都心	総来場者数2,300人	総事業費 5,000	総事業費 7,000	A	「東京2020公認文化オリンピックアド」の認証を得たことで、積極的な広報が図られ、認知度が向上したのと思われる。	
2	基本施策5 (1) ①		ちば文化発信事業	文化センターにおいて、県内の文化芸術を一堂に会した見本市(展示・公演・ワークショップ)を全館を使って開催し、広くちば文化の魅力を発信する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化スポーツ部文化振興課	文化センター内の多施設を使用した参加、体験型のまつりを実施する。アーティストバンクちば登録者、千葉市文化連盟所属団体等に参加していただき実施した。 文化センター伝統芸能まつり 実施日:11月3日(土・祝) 会場:文化センター 5・6・9階 入場者数 ・3階アートホール 邦楽コンサート152人、お琴を弾いてみよう! 28人 ・3階アートホール ロビー オリピックにおける芸術競技の展示43人、ちぎり絵体験33人、琵琶を弾いてみよう! 17人、鼓を打ってみよう! (音楽体験)18人 ・5階市民サロン いけばな展117人、いけばな体験31人 ・5階セミナー室 茶会87人 ・5階第1リハーサル室 舞ってみよう! (日本舞踊体験) 18人 ・6階スタジオ I 千葉の民話を楽しもう! 64人 ・6階和室 和服を着よう! 23人 入場者数合計631人	入場者数430人	文化センター内の多施設を使用した参加、体験型のまつりを実施する。 アーティストバンクちば登録者、千葉市文化連盟所属団体等に参加して頂き実施する。 文化センター伝統芸能まつり 日程:11月上旬 会場:千葉市文化センター 全館(3・5・6階) 入場料:未定	入場者数430人	総事業費 1,156	総事業費 1,424	A	前年度までチケットの種類が多く複雑であったが、鑑賞及び体験イベント(茶会といけばな体験を除く)に複数参加して頂けるようバスポートスタイルのチケットしたこと、アートホールでのイベント数を増やしたことから入場者数が増えたため。	
3	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)①	美術館展示	優れた美術品の鑑賞機会を多くの市民に提供するため、来館者の希望や開催意義などを考慮しつつテーマを設定し、それに基づいた展示を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化スポーツ部文化振興課	企画展:「百花繚乱列島」ほか6展覧会を実施 所蔵作品展:「菱川師宣とその時代」ほか5展覧会を実施 講演会など:企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施 展覧会総入場者数:116,618人	入場者数152,000人	企画展:「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション」ほか4展覧会を実施 所蔵作品展:「ピーター・ドラッカー・コレクション水墨画名品展」ほか4展覧会を実施	入場者数140,000人	総事業費 120,515	総事業費 123,532	C	展覧会自体は概ね好評を頂いたが、下半期、特に地元作家をクローズアップした展覧会で集客増に結び付けることができなかった。	
4	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)①	市民ギャラリー・いなげ展示	美術を身近に感じてもらうため、千葉と関わりの深い作家展、千葉市内の子供たちが参加する展覧会など、魅力ある企画展を開催する。1階のロビーでは、不定期で千葉にゆかりのある作家の紹介や市内施設と連携した展示などを行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化スポーツ部文化振興課	【世界児童画展千葉展】会期:7月31日(火)~5日(日) 来場者:616人 【創造海岸いなげ展】会期:8月14日(火)~26日(日) 来場者:597人 【千葉市中学美術部展】会期:8月14日(火)~26日(日) 来場者:792人 【アーティストと展示をつくる】会期:12月26日(水)~1月13日(日) 来場者:464人 【千葉の畑に棲みついた江戸と明治の忘れ物 泥面子と型押しおはじき】会期:1月4日(金)~14日(月祝) 来場者:1,468人 特記:ギャラリー・いなげ新春展も同時開催。 【武蔵亜希子一記憶の中の風景】会期:2月7日(木)~24日(日) 来場者:526人 来場者数計:4,463人	来場者数 6100人	【世界児童画展千葉展】会期:7月23日(火)~28日(日) 来場者見込:700人 【創造海岸いなげ展】会期:8月14日(水)~25日(日) 来場者見込:800人 【千葉市中学美術部展】会期:8月14日(水)~25日(日) 来場者見込:800人 【アーティストと展示をつくる】会期:12月~1月予定 来場者見込:500人 【ギャラリー・いなげ新春展】会期:1月4日(土)~13日(月祝) 来場者見込:800人 【堀由樹子作品展】会期:2月6日(木)~23日(日) 来場者見込:1000人	来場者数:4600人	総事業費 1,134	総事業費 1,134	C	平成30年6月からの旧神谷伝兵衛福毛別荘の耐震改修工事による休館の影響を受け、来場者数が減少した。	
5	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)① 基本施策4(2)③	地域の歴史文化を活かした展示	市内の文化施設、博物館施設などとの連携し、地域の歴史文化を活かした展覧会を開催する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化スポーツ部文化振興課	①企画展「福毛の夏休み~海の記憶を伝える~」 開催日:7月3日(火)~16日(月祝) 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場見込:733名 ②第2回いなげ八景水彩画コンクール作品展 開催日:11月17日(土)~12月2日(日) 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場見込:1,802名 特記:今回より「子ども部門」も新設し拡張する。 来場者計:2,535人	来場者数:1200名	①企画展「海の上にできた街~福毛海浜ニュータウンの記憶~」 開催日:7月2日(火)~15日(月祝) 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場見込:700名 ②第3回いなげ八景水彩画コンクール作品展 開催日:11月16日(土)~12月1日(日) 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場見込:500名	来場者数:1200名	総事業費 132	総事業費 150	A	いなげ八景水彩画コンクール会期中、夜灯まつりの2日間はギャラリー・いなげ館内も夜8時まで開館時間を延長したため、来場者数が大幅にのびた。	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市	市の関わり									
6	基本施策5 (1) ①		都市アイデンティティの確立	千葉市の歴史やルーツに根差した地域資源である「加曾利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」などを活用し、都市アイデンティティ(千葉市らしさ)を確立する。	市	総合政策局 総合政策部 都市アイデンティティ推進課		本市固有の4つの地域資源(加曾利貝塚・オオガハス・千葉氏・海辺)を活用し、都市アイデンティティの確立に取り組んだ。特に、本年が千葉常胤生誕900年という節目の機会であることから、記念行事や第2回千葉氏サミットを開催するとともに、千葉開府900年祭に向けた行動計画を策定した。 【千葉常胤生誕900年PR】 ・記念行事 ・相馬野馬追と自治体首長による騎馬武者行列(開催日:5/26) ・モルメルランニング ・北斗の拳とのコラボ企画(全16企画) ・PR画像・映像放映 【都市関連連携】 ・千葉氏サミット開催(開催日:5/26) ・親子三代夏祭り出展(開催日:8/19、出展実績:6都市) 【千葉開府900年祭に向けた取組み】 ・千葉開府900年祭に向けたロードマップの策定 ・ち〜パルとの連携(開催日:9/17~10/31) 【その他】 ・下敷き「ちばしのじまん」の制作・新小学3年生へ配付 ・日本史特別授業の実施 千葉市立千葉高等学校(開催日:11/8) 千葉市立稲毛高等学校(開催日:11/19)	千葉市都市アイデンティティ戦略プランに掲載している各種指標の現在値からの向上	本市固有の4つの地域資源(加曾利貝塚・オオガハス・千葉氏・海辺)を活用し、都市アイデンティティの確立を目指す。 【学校教育】 ・下敷き「ちばしのじまん」の制作・配付 ・「海辺の副読本」の制作・配付 ・日本史特別授業の実施 【オリパラに向けたPR】 ・映像を活用したPR 【千葉開府900年に向けた取組み】 ・団体支援 ・親子三代夏祭り出展 など	千葉市都市アイデンティティ戦略プランに掲載している各種指標の現在値からの向上	総事業費 27,422	総事業費 19,507	-	毎年度指標の数値を把握することができないため実績なし
7	基本施策5 (1) ①	基本施策2(2)①	都市文化賞	都市文化の向上や魅力あるまちづくりのため、良好な景観形成に寄与すると認められた街並み、屋外広告物、建築物等を表彰する。	市	都市局 都市部 都市計画課 (都市景観デザイン室)		募集期間:8月1日~10月31日 第1次審査:12月4日 第2次審査:1月26日 受賞者発表:3月1日 表彰式を実施:3月27日(場所:千葉市長応接室)	魅力ある景観形成と都市文化の向上に対する意識の啓発と景観資源の発掘を目指す。 応募総数の増加 50件	魅力ある景観形成と都市文化の向上に対する市民意識の啓発 フォーラムの見直しによる来場者数の増加 120人	総事業費 633	総事業費 734	B		
8	基本施策5 (1) ②	基本施策5(1)②	おススメ・カルチャー・プラットフォーム	高校生を中心とした若者文化の情報を集約・発信する仕組みを構築するとともに、高校生による実行委員会の組織化を図る。	実行委員会	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		【Cフェス2019】と題し、高校生によるバンドの発表の場を設けた。 開催日:2月17日(日)13:00~19:00 会場:ライフハウスSTARINITE 内容: ステージイベント 出演バンド:13組 ※各組に対してアドバイザーによる講評あり 出演者・観客数 ・出演者 52人(高校生バンド) ・講師 3人 ・観客数:110人	観客数150人	高校(顧問教諭や生徒)・市内スタジオへのヒアリングを行ったうえで、行政に対するニーズを把握し、前回Cフェスをブラッシュアップする。高校生に対する技術向上や発表の機会の充実等を図ることのできる事業展開を図る。 開催時期:初秋(10月)以降	観客数150人	総事業費 929	総事業費 1,500	B	

(2)魅力ある人材の活用

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成30年度実施実績	平成30年度目標	令和元年度実施予定	令和元年度目標	平成30年度決算額(千円)	令和元年度予算額(千円)	平成30年度達成度	備考
					市	市の関わり									
1	基本施策5 (2) ①	基本施策2(1)③ 基本施策2(2)②	アーツステーションちば 【アーティストバンク】	文化センターにおいて、千葉市ゆかりのアーティストのコーディネートを行い、人材育成事業と運動しながら効果的な人材活用を図る。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		千葉市ゆかりのアーティストの活動の場を広げるためのサポートをする。 ・アーティストの募集 ・登録アーティストの管理 登録数:プロ295組、アマチュア59組 ・登録アーティストの紹介・斡旋 活動数:プロ357件、アマチュア48件	①登録数(プロ290組・アマチュア55組) ②活動数(プロ250回・アマチュア50回)	千葉市ゆかりのアーティストの活動の場を広げるためのサポートをする。 ・アーティストの募集 ・登録アーティストの管理 登録数:プロ300回・アマチュア50回)	総事業費 9	総事業費 170	B		
2	基本施策5 (2) ①	基本施策2(2)②	アトリウムコンサート	生涯学習センターにおいて、千葉市にゆかりのある音楽団体・音楽家や、将来音楽家を目指している学生などに演奏する場を提供するとともに、年間を通して継続的なコンサートを行い、市民が気軽に音楽に触れる機会を提供することで、千葉市の文化芸術の活性化を図る。また、これにより音楽を通じた生涯学習活動の推進を図るとともに、豊かな市民生活の一助とする。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課		やすらぎのアトリウムコンサート(年6回) 4月21日(土)~春空に響くソプラノの調べ~ 出演:尾形 晃子(ソプラノ)、久保 祥子(ピアノ伴奏) 来場者数 310人 ②6月24日(日)「津軽三味線と民謡の響き」 出演:桂城 杜生・馬場 邦彰(三味線)、銭太鼓(安藤 龍希)、歌(坂本 りえ) 来場者数 315人 ③9月29日(土)~新しくも懐かしい 他では聴けない竹のサウンド~ 出演:東京楽竹団 来場者数 205人 ④12月2日(日)~聖夜に贈る金管五重奏のきらめき~ 出演:宮部 宏美・長江 純一(トランペット)、山本 春奈(ホルン)、三國 裕子(トロンボーン)、今川 英悟(テューバ) 来場者数 330人 ⑤1月27日(日)~MAJO QUARTET で聴く春の調べ~ 出演:MAJO QUARTET 来場者数 300人 ⑥ウクレレコンサート(千葉市文化振興財団共催) 出演:渡辺 海智(ウクレレ) 来場者数 400人 *場所はすべて生涯学習センター	来場者数:各回300人	やすらぎのアトリウムコンサート(年5回) ①4月27日(土) ②6月15日(土) ③12月8日(日) ④2月1日(土) ⑤未定 *場所はすべて生涯学習センター	来場者数:1500人(5回計)	総事業費 469	総事業費 423	B	
3	基本施策5 (2) ①	基本施策2(2)②	千葉市議会 議場コンサート	千葉市の地域文化の創造と市議会を市民にとってより身近で親しみやすいものとするため、議場に演奏会を開催する。	市	議会事務局 総務課		千葉市芸術文化新人賞受賞者等、市にゆかりのあるアーティストによるコンサートを開催 「千葉市議会議場コンサート2019」 日程:平成31年2月15日(平成31年第1回定例会開会日 開会前) 場所:千葉市議会本会議場 一般傍聴者数:73人	一般入場者数:92人 (傍聴席上限)	千葉市芸術文化新人賞受賞者等、市にゆかりのあるアーティストによるコンサートを開催 「千葉市議会議場コンサート2020」 日程:令和2年第1回定例会開会日 開会前) 場所:千葉市議会本会議場	一般入場者数:92人 (傍聴席上限)	総事業費 289	総事業費 309	B	
4	基本施策5 (2) ②		アーツステーションちば 【文化サポーターバンク】	文化センターにおいて、文化芸術に係る人材の登録・管理、コーディネートを行い、人材育成事業と運動しながら効果的な人材活用を図る。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		文化サポーターとして登録・管理を行い、「舞台セミナー」、「ボランティア養成講座」、などと連携しつつ、財団事業やその他のイベント等への参加を図った。 登録数62人 活動数延べ188人	①登録数60人 ②活動数延べ80人	文化ボランティア、文化マネージャー、文化団体、サークル、NPO、メセナ企業などに活躍の場を広げるサポートをする環境の整備。 文化サポーターとして登録・管理を行い、「舞台セミナー」、「ボランティア養成講座」、などと連携しつつ、財団事業やその他のイベント等への参加を図る。	①登録数60人 ②活動数延べ100人	総事業費 76	総事業費 100	A	千葉市芸術文化芸術や新人賞サポータープログラムなど財団事業において、文化サポーターの参加の機会を増やしたため。